デジタルビデオカメラ

型名 GR-D50K

取扱説明書

Mini DV NTSC

取扱説明編

P33〜P125

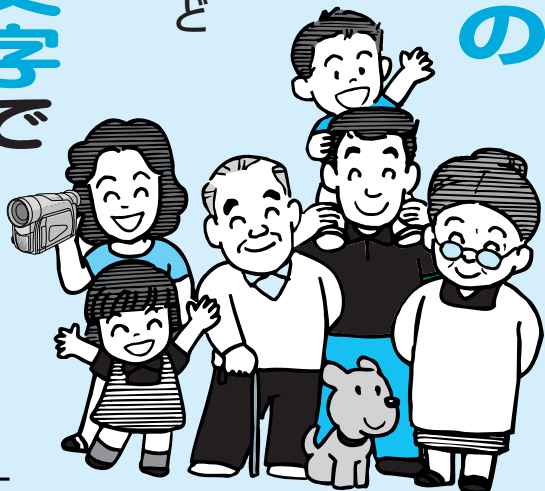
お楽しみガイド

P7〜P32

「お楽しみガイド」で楽しみ方、使い方の基本がわかります

Column コラム

海外旅行、運動会、結婚式などで役立つビデオ撮影のコツをイラスト入りで紹介

操作手順が大きな文字で読みやすく、わかりやすい！

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（34〜35、107〜111ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT1090-001A

お楽しみガイド　目次

取扱説明編　目次

付属品については、６ページをご覧ください。

手動 マニュアル（手動）撮影でさらに高度なビデオライフを！……… 75

編集 撮影した映像を編集して楽しもう！……… 85

パソコン パソコンに画像を取り込んで楽しもう！……… 95

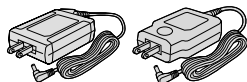
メニュー設定

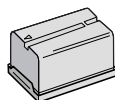
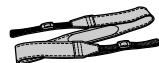
メニューの設定を変更しよう …… 97

他

安全上のご注意など …… 106

付属品について

本機の付属品をお確かめください。

ACアダプター
AP-V13またはAP-V11
（どちらか1つ）

リモートコントロール
RM-V718（リモコン）

バッテリー
BN-V416

ショルダーストラップ

リチウム電池*
CR2025（ボタン電池）
（リモコン動作確認用）

専用USBケーブル
長さ：約1.3m

CD-ROM

フェライトコア
（別売DVケーブル用）

レンズキャップ
（取り付けかたは
☞ 38ページ）

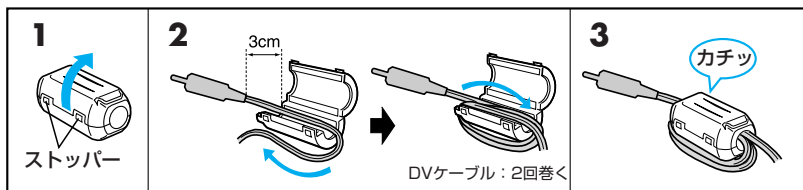
専用映像/音声コード（φ3.5ミニ）
φ3.5ミニプラグ　▶ピンプラグ×3
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用

S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラとS映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用

映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減するために付属のコードやケーブルにフェライトコアがつくことがあります。
この場合、フェライトコアのついている側の端子をビデオカメラに接続してください。

*リモコン用のリチウム電池は、リモコンに入って出荷されています。
リモコンをお使いのときは、絶縁シートを引き出してください。

フェライトコアの取り付けかた

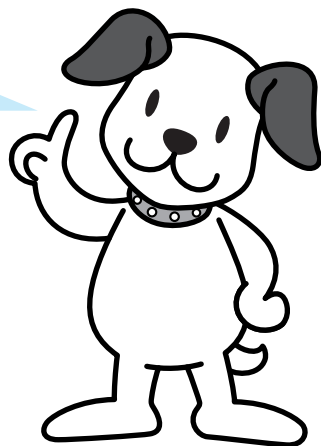
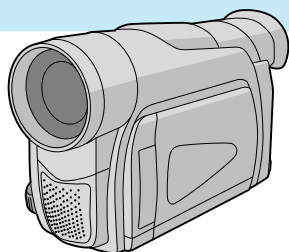
別売のDVケーブルをお使いになるときに取り付けてください。映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減することができます。

1 **両端のストッパーをはずして開く**

2 **フェライトコアにケーブルを2回巻く**
●端子から約 3cm の位置にフェライトコアを取り付けます。

3 **ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる**

■ 接続するときは、フェライトコアを取り付けた側の端子をビデオカメラに接続してください。

お楽しみガイド

このデジタルビデオカメラの楽しみかたを、僕がご紹介します。
便利な機能や、楽しい使いかたを覚えて、あなたのビデオライフをエンジョイしてくださいね。

この「お楽しみガイド」では、本機の使いかたの簡単操作ガイドや、ビデオライフの楽しみかたなどをご紹介しています。まずはじめにお読みください。

主な特長　ビクターのデジタル

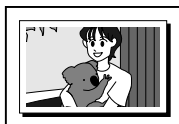
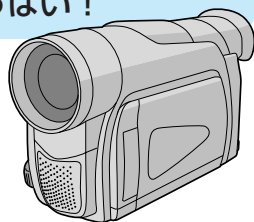
パソコンで画像が遊べる「静止画／動画取り込み」

付属のCD-ROMとUSBケーブルを使うとテープに撮影した映像を簡単にパソコンに取り込めます。

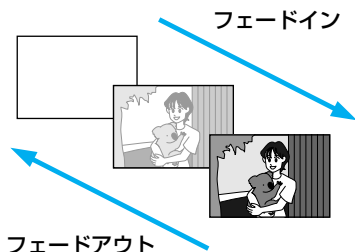
☞ 96ページ

記念日に、育児日記に「記念写真モード」

動画の中に、アクセントで静止画（記念写真）を入れることができます。

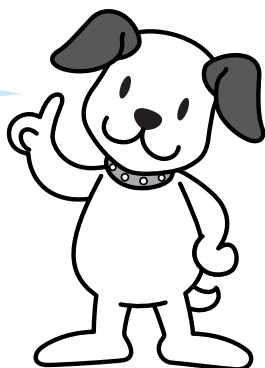
☞ 56ページ

このデジタルビデオカメラは、こんなに便利で楽しい機能がいっぱい！

映像に変化をつけて楽しめる「デジタル演出」

映像に変化をつけてさまざまな演出をほどこした録画や再生ができます。

☞ 80、82ページ

ビデオカメラで楽しさこんなに拡がる！

逆光でも簡単に補正できる「逆光補正」

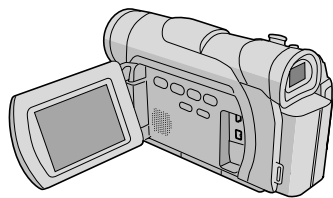
太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

☞ 58ページ

デジタル編集ができる「ＤＶ入力/出力対応」

別売のDVケーブルでDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質・音声劣化のないダビング編集ができます。

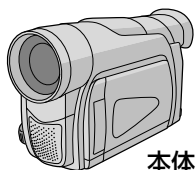
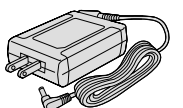
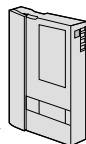
☞ 88ページ

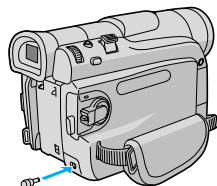
電源の切り忘れを防ぐ「クイックパワーオフ」

電源ダイヤルが「撮影」または「M」のときに液晶画面を開く／閉じる、またはファインダーを引き出す／戻すだけで電源の入／切ができます。

いますぐ撮影してみよう

さっそくカセットテープに
撮影してみよう！

必要なもの

本体

ACアダプター

Mini DV（ミニ）
カセットテープ（別売）

1 電源をつなぐ

1 DC入力端子に差し込む

2 コンセントに差し込む

2 カセットテープを入れる

3 カセットテープを
奥まで入れる

4 （ここを押す）を押す
ホルダーが自動的
に閉じます。

5 カバーを閉じる

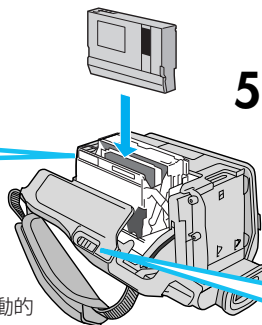
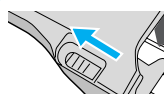
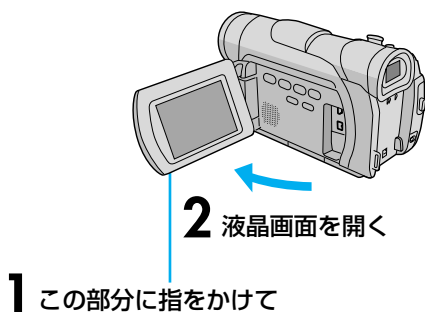
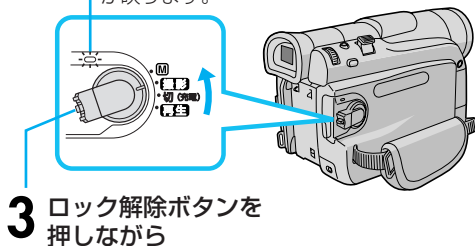
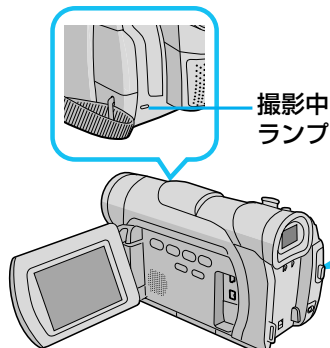
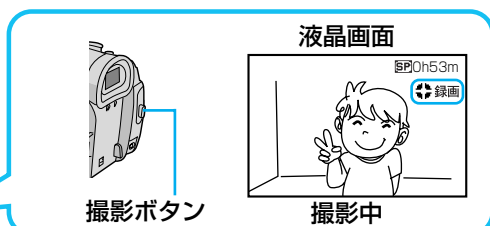
1 スライドさせたまま

2 カバーを開く
中のホルダーが自動的
に開きます。

3 電源を入れる

1 この部分に指をかけて

2 液晶画面を開く

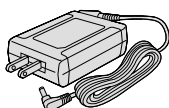
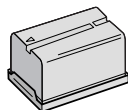
3 ロック解除ボタンを押しながら

4 電源ダイヤルを「撮影」に合わせる
電源／充電ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

4 撮る

1 撮影ボタンを押す
・撮影が始まります。（画面表示：録画）
・撮影中ランプが点灯します。

2 再度撮影ボタンを押すと、撮影一時停止になります

簡単だから、誰にでも
操作できるよ！

バッテリーを充電して撮影しよう

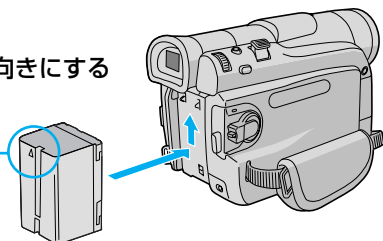
屋外で撮影したいときなどは、
充電したバッテリーが必要です。

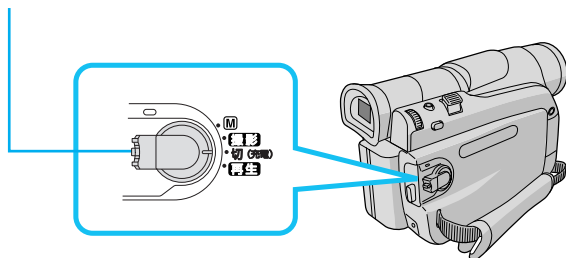
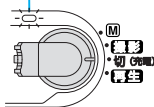
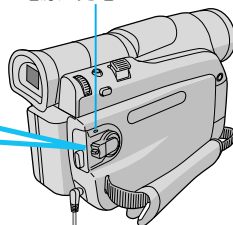
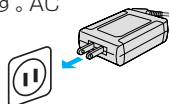
必要なもの

本体

ACアダプター

バッテリー

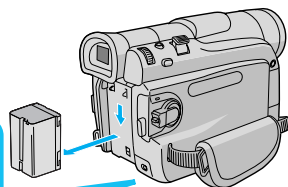
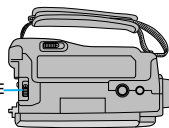
1 バッテリーを取りつける

1 矢印を上向きにする

2 バッテリーをとりつける
ビデオカメラに押しつけるように
しながら上にスライドさせます。

2 電源ダイヤルを「切」にする

1 ロック解除ボタンを押しながら電
源ダイヤルを「切」に合わせる

バッテリーの取りはずしかた

BATT.RELEASEスイッチをスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす

上から下へスライドさせて手前に引いて取りはずしてください。

連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約3時間30分	約2時間30分

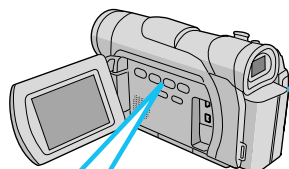
実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約1時間40分	約1時間10分

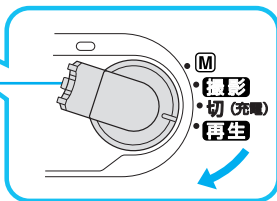
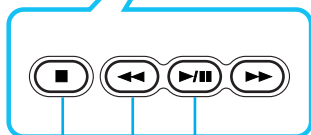
別売バッテリーの充電時間と撮影時間は、46、53ページで説明しているよ！

いますぐ見てみよう

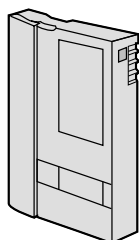
カセットテープの映像を再生して見てみよう！

カセットテープを再生する

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

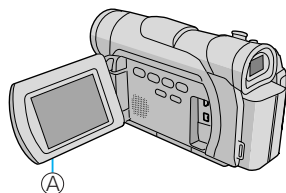
ロック解除ボタン

M
撮影
切（充電）
再生

停止ボタン

3 再生ボタン（►/II）を押す
再生をやめたいときは、停止ボタン（■）を押します。

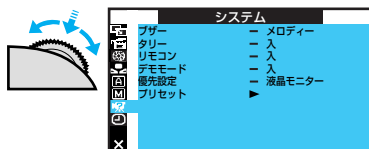
2 巻戻しボタン（◄◄）を押してテープを巻戻す

デモンストレーションを見てみよう

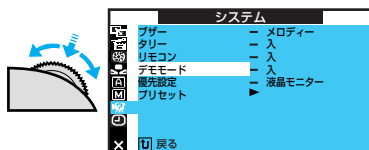
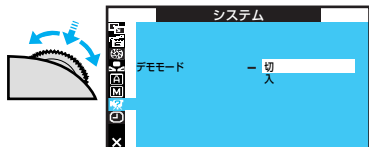
本機には、演出効果などの機能を確認するための実演（デモンストレーション）モードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。
お買い上げ時は、「デモモード」の設定が「入」になっていますので、カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」、または「M」に合わせてから約 3 分間なんの操作もしないと自動的にデモモードが始まります。
デモモードを見終わったら、以下の手順で設定を「切」にしてください。

1 Ⓐ の部分に指をかけて液晶画面を開く

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。

3 メニューダイヤルを回して「　」を選び、ダイヤルを押す

●システムメニューが表示されます。

4 メニューダイヤルを回して「デモモード」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

5 メニューダイヤルを回して「切」を選び、ダイヤルを押す

6 メニューダイヤルを 2 回押す

メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

■デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。
その後約 3 分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

撮影の基本（上手に撮るコツ）

ブレなくてキレイな映像を
撮影することができるよ！

わきをしめる

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。

カメラを安定させる

壁や柱によりかかり、安定させる。

両手でカメラを持つ

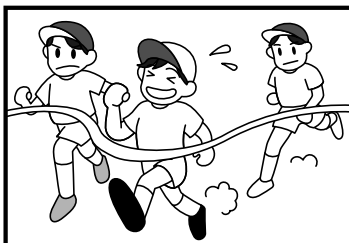
低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けたり、ファインダーを上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

高い位置からの撮影

　高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

ビデオカメラを動かさない

　安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。

　左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルティング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

液晶画面を回転させる

　液晶画面は上に180°、下に90° 回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます。液晶画面を開いて180° 回転させ前に向けてください。レンズをご自分に向ければ、ビデオ日記などを撮影するときに役立ちます。

三脚を使う

　三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

こんなに楽しいビデオライフ

撮ってすぐ見られるから、海外旅行がさらに楽しい！

現地のテレビでも再生できます

海外旅行に欠かせないビデオカメラ。撮影したら、すぐ見たいものです。ホテルに帰ってビデオカメラの液晶画面で再生したり、現地のテレビに接続して見ることもできます（NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビなら可能☞116ページ）。

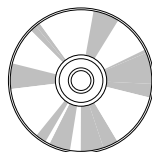
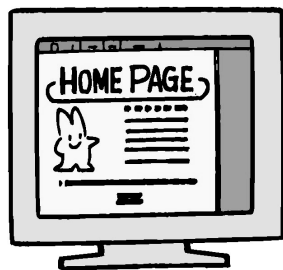
また、付属のACアダプターは、海外でも使用でき、バッテリーを充電したり、直接電源を確保できます。海外旅行の際には、訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。

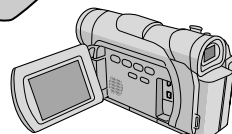
（詳細は、旅行代理店またはビクターサービス窓口☞118ページにご相談ください）。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

パソコンに接続すれば、メールやホームページにも使える！

USBケーブルで簡単に動画や静止画を取り込める！

　付属のソフトウェアをインストールすると、テープに撮影した映像をパソコンに取り込めます。パソコンに取り込んだ画像は、メールに添付したり、年賀状やホームページなどでも活用して楽しめます。
　また、パソコンに取り込んだ動画を編集してVideo　CDに書き込むと（650MBのCDで１枚に最大64分の動画を記録）、メールでは送りにくい長時間の作品も気軽に送ることができます。
（詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください）。

インターネットＴＶ電話も可能に！

　USBケーブルを接続すれば、パソコンへリアルタイムに動画を転送することができます。つまり、インターネットＴＶ電話も可能というわけです。
（詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください）。

いつでもどこでもどんなときでも楽しめる！

こんな機能を使えば、素敵なシーンがたくさん撮れるよ！

照明をつけなくても撮影できる！

照明をつけたくない暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

操作方法：

①ロックを解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる
②ナイトアイボタンを押す

☞ 84ページ

暗い場所で眠っている赤ちゃんやペットをそっと撮影したいときに最適です。ライトがつかないから、眠りの邪魔をしません。

逆光でも簡単に補正できる！

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる
②逆光補正ボタンを押す

☞ 58ページ

こんなとき

運動会など被写体が移動して、逆光でも撮影したいときに便利です。

ビデオで記念写真が撮れる！

ビデオ映像の中に静止画を3つのモード（フレーム、フル、ピンナップ）で撮影できます。

操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」または「撮影」に合わせる

②静止画ボタンを押す

■モードの選択は、メニュー画面で行います。

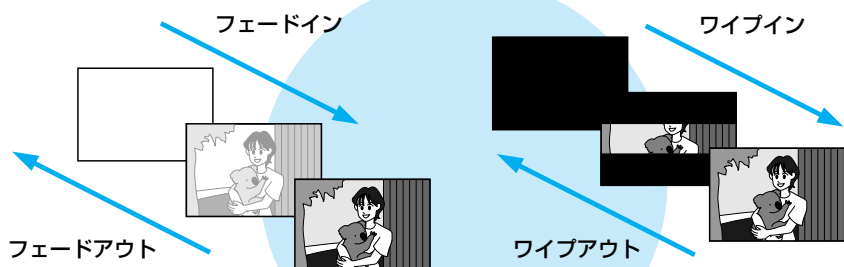
☞ 56ページ

遊園地での素敵な笑顔や、旅行先でのスナップを動画の中に入れておくと、再生したときに楽しめます。

いろいろな場面でこの機能を使ってみてね！

あなたも今日から映画監督！

ワンランク上のテクニックを使ってドラマチックな映像に！

フェードイン、フェードアウトで場面をつなごう！

場面と場面のつなぎ目に変化を入れることによって、映画やドラマのような映像を楽しむことができます。

操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す
②メニューダイヤルで「(場面切替)」を選び、ダイヤルを押す
③メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ
④メニューダイヤルを2回押す
⑤撮影する

☞ 80ページ

こんなとき

結婚式や紹介ビデオなどの、はじまりや終わりにはフェードを、日付や場所が変更になったところでワイプを使うと素敵な演出ができます。

映像に変化をつけて楽しもう！

被写体をセピア色や白黒で撮影したり、コマ落としの効果をつけて撮影することなどができます。

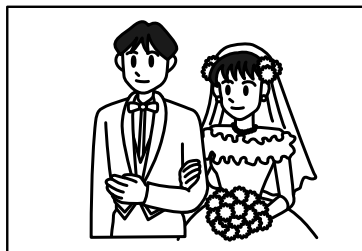
操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニュー ー ダイヤルを押す
③メニューダイヤルで「 （プログラムAE)」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルでお好みのモードを選ぶ
⑤メニューダイヤルを 2 回押す
⑥撮影する

セピア

スポットライト

B/W　B/W 白黒

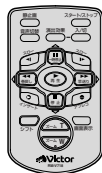
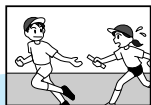
映画効果

82ページ

ビデオレターを作るときなどに、映像の途中で画面をセピア色にしたり、白黒にしたりすることによって、個性的な演出が楽しめます。

ズームしたり、演出をしながら再生しよう！

付属のリモコンを使うと、再生しているときに、画面をズームしたり、映像に演出効果を加えることができます。

操作方法：

ズーム

②拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右（△▽◁▷）ボタンを押す　72ページ

演出効果

①テープ再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す
②演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ
73ページ

こんなとき

運動会や結婚式のビデオを家族やお友達と見るときなどに最適です。

撮影した映像を編集して楽しもう！

ダビングしたり、声や映像を
入れ替えて楽しもう！

ダビングして両親や友人に見せよう！

　ビデオデッキと本機を使ってダビングすることができます。また、ＤＶ端子付きのビデオ機器でデジタルダビングも可能です。

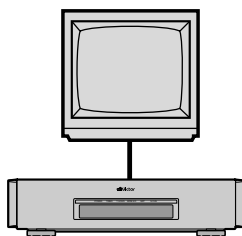
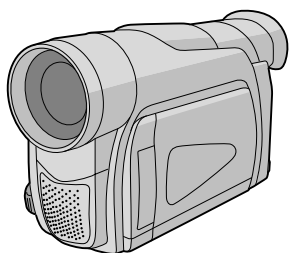
操作方法：
ダビング

①電源を入れない状態で、本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子を映像／音声コードで接続する
②本機を再生し、ダビングしたいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

☞ 86ページ

デジタルダビング

①電源を入れない状態で、本機のＤＶ入力／出力端子とＤＶ端子付ビデオ機器をDVケーブルで接続する
②本機を再生し、ダビングしたいところで、ＤＶ端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

☞ 88ページ

撮影したテープにナレーションなどを入れよう！（アフレコ編集）

録画モードＳＰで、音声モードを12bitで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。

操作方法：

①テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

②リモコンのアフレコボタン（⊖）を押しながら、一時停止ボタン（❚❚）を押す

③再生ボタン（▶）を押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

④停止ボタン（■）を押して、アフレコ編集を終了する ☞ 90ページ

タイトルなどを入れて編集しよう！（インサート編集）

録画モードＳＰで撮影済みのテープに、後でタイトルなどの別の場面を挿入することができます。

操作方法：

①テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

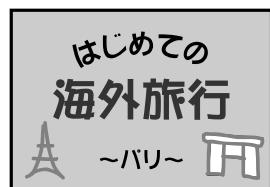
・タイムコードを確認してください。

②インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタン（❚❚）を押す

③リモコンのインサートボタン（▶）を押しながら、一時停止ボタンを押す

④インサート編集するタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

⑤リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押して、手順①で確認したタイムコードの位置でインサート編集を停止する

⑥リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する ☞ 92ページ

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、ACアダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。（☞118ページ）

電　源

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	10、46 12、46

撮影中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ● 「テープ終り」になってませんか？ ● 電源ダイヤルが 再生 になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	113 42 38 47
映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください 。	–
メニューダイヤルの機能が使えない	● 電源ダイヤルを Ⓜ にしてください。	–
自動でピントが合わない	● 電源ダイヤルを 撮影 にしてください。 Ⓜ のまま撮影するときは「フォーカス」ボタンを押してマニュアルフォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	76 76 115
撮影中、液晶画面に日時が出ない	● 「日時表示」を「切」にしていませんか？	104

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影したビデオの縦に明るい線が出る	●強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？ 被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	–
太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	●故障ではありません。	–
記念写真で撮影した画像の色がおかしい	●照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。	–
撮影した映像が明るすぎたり、白つぶれする	●逆行補正がはたらいていませんか? ●明るさ補正がマニュアルに設定されていませんか?	58 77
デジタルズームできない	●「ズーム」が「16倍」に設定されているときは16倍ズームまでしかできません。	98
手振れ補正が働かない	●手振れ補正が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	100
「プログラムAE」や「場面切替」機能が使えない	●電源ダイヤルを M にしてください。	–
「白バランス」が設定できない	●「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	82
液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ●寒い場所で再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口（☞118ページ）にご相談ください。	–
液晶画面の裏側が熱くなる	●液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	–
液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	–

撮影中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「プログラムAE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	80 82 100

再生中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
液晶画面の映像が乱れる	●テープの無記録部分の再生、早送り／巻戻し再生、スロー再生および静止画再生中は画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	−
テープの再生、巻戻し早送りができない	● 電源ダイヤルが 撮影 M になっていませんか？	−
テープは回っているが再生されない	● カセットカバーが開いていませんか？ ● テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	−
映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	31
映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	31

その他

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
「露が付きました」と表示される	● メッセージが消えてから使用してください。	32
「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	31
液晶画面に「E01」または「E02」、「E06」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし、表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞118ページ）にご相談ください。また、テープに傷が付きますのでテープは取り出さないでください。	–
液晶画面に「E03」または「E04」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。テープを取り出して入れなおし、表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞118ページ）にご相談ください。	–
液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	54
ファインダーに映像が表示されない	● 液晶画面を閉じてみてください。 ● 「優先設定」を「ファインダー」にしてください。	102
テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	47 42
プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	–
液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	112
DVケーブルで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVケーブルを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	–

長時間撮影できるバッテリーはありますか？

長時間の撮影を可能にするベルトホルダータイプのバッテリーキットVU-V840KITとVU-V856KITの2種類があります(別売)。バッテリーキットには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

VU-V840KIT

VU-V856KIT

連続撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約7時間30分	約5時間20分
VU-V856KIT	約11時間10分	約8時間10分

実撮影時間の目安

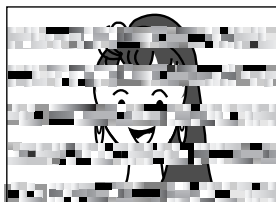
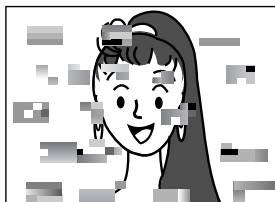
バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約3時間45分	約2時間40分
VU-V856KIT	約5時間35分	約4時間5分

連続撮影時間はズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。
実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際はこれよりも短くなることがあります。

バッテリーキットをお買い求めの際は、専用のDCコード
VC-VBN856も合わせてお買い求めください。

映像にノイズが出たり、音声が途切れたら

ビデオヘッドが汚れると、撮影時や再生時に以下の症状が出ます。汚れがひどくなると、正常な録画や再生ができなくなりますので、ヘッドをクリーニングしてください。大切な撮影をするときは、クリーニングカセットを持ち歩かれることをお勧めします。

・ 再生すると映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）が出たり、音声が途切れる。
・ 再生すると映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
・ 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）。
・ 撮影や再生をすると「⊗ ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを試して下さい」と表示される。
・ 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）

クリーニングが終わったら、撮影・再生して上記の症状が消えていることを確認してください。

ミニDVヘッドクリーナーM-DVSCLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラでM-DVSCLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくはM-DVSCLの取扱説明をご覧ください。

ミニDV　ヘッドクリーナー
M-DVSCL（別売）

クリーニングを数回しても正常に再生ができないときは

撮影時にヘッドが汚れていたために正常に記録できなかったと考えられます。撮影時、液晶画面やビューファインダーには記録前の映像が表示されるため、記録時の映像ノイズや音声の途切れは確認できません。新たに撮影してみて、正常に再生ができれば、ヘッドはきれいになっています。大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをお勧めします。

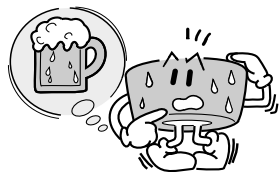
定期点検を行ってください

1カ月に1度程度は、電源を入れてお使いになることをお勧めします。また、ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000時間を目安に定期点検に出されることをお勧めします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞118ページ）にご相談ください。

「露が付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると

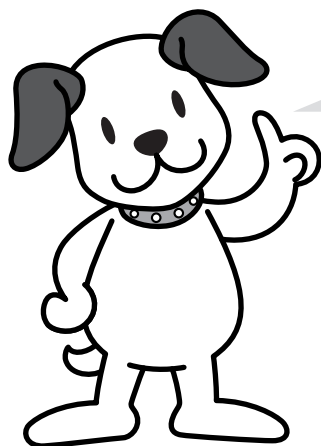
- 液晶画面に「露が付きました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ つゆつき後再び使い始めるときは

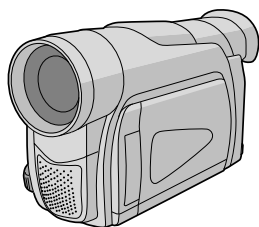
- メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

- 寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気を抜き、密封してください。しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

取扱説明編

ここからは「取扱説明編」です。手順は大きな文字でわかりやすく書かれています。

コラムには、“知って得するビデオ撮影のコツ”を紹介。海外旅行編、運動会編、結婚式編などがあるので、撮影の参考にしてくださいね。

（☞ 59、74、94ページ）

操作はココ！を見れば、どこを操作すればいいかがわかります。また、ご注意には、大切なことが書かれていますので、お読みください。

⚠ 安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

高温に注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

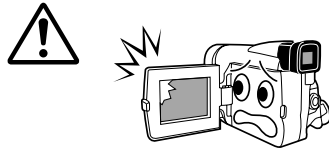
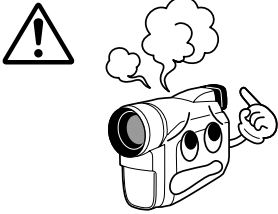
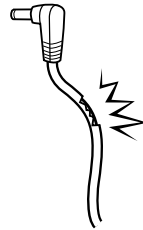
●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
内部に水や異物が入った	ACアダプターのコードが傷んだとき

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

107～111ページの「安全上のご注意」もお読みください。

ご使用の前に

大切な撮影の前に

- 本機はデジタルビデオカメラの機能を搭載しています。
  （ Mini DV ）マークの付いたデジタルビデオテープをご使用ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルビデオカメラ、テープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機のマイクやカメラセンサー部分に手や指をかけないようにしてください。雑音が入ったり正しい明るさで撮影できなかったりすることがあります。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

注釈のみかた

ご注意

ACアダプターが温かくなることがあります。

ご注意マーク：
操作上の注意などが書かれています。

撮影中に記念写真を撮影したときは

静止画像が約 6 秒間記録され通常の撮影に戻ります。

薄いアミと黒文字：
機能や操作のワンポイントアドバイスや、操作に困ったときの対処法が書かれています。

静止画再生を約 3 分以上続けると自動的に停止します。

文字のみ：
機能や操作の補足説明などが書かれています。

・演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うと

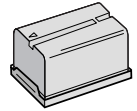
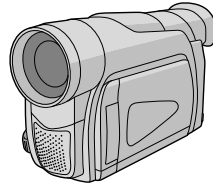
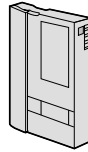
濃いアミと白抜き文字：
知っているとちょっと便利な内容が書かれています。

☞ 70ページ

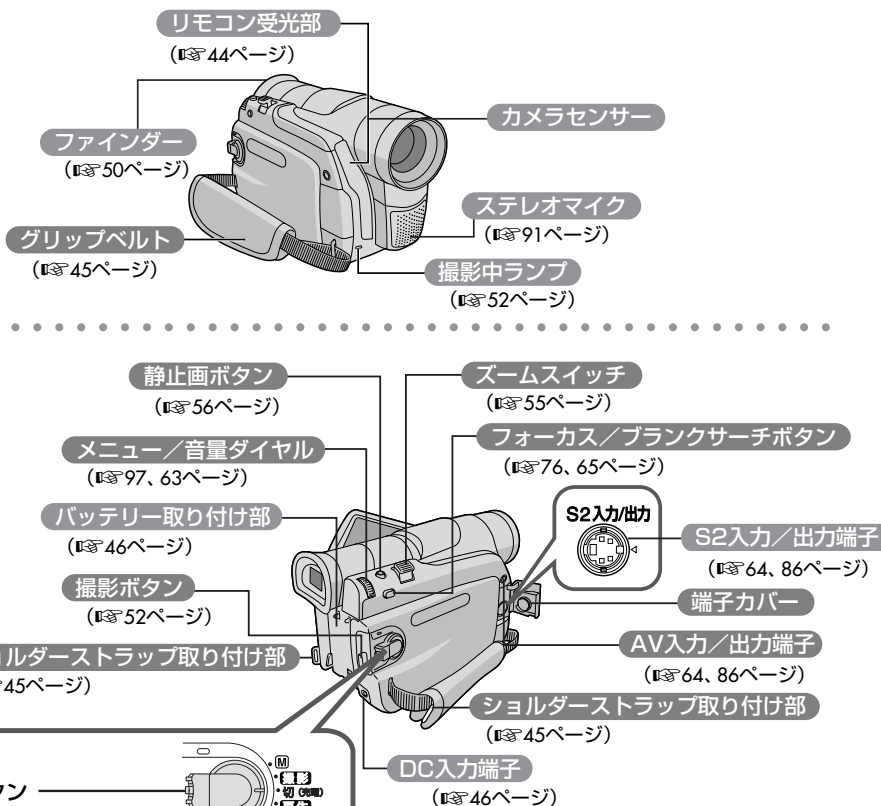
指マーク：
参照ページや参照項目を示しています。

準備

撮影する前に準備しましょう

撮影する前には、バッテリーを充電しておきましょう。長時間の撮影には、ベルトホルダータイプのバッテリーキットが別売されています。**（☞ 30ページ）**
また、ミニＤＶカセットテープも用意しておきましょう。

各部のなまえ

使い方については、(　)内の参照ページをご覧ください。

ビデオカメラ本体

電源ダイヤル
ロック解除ボタン
ボタンを押しながら、電源ダイヤルのモードを切り替えます。

・M ・撮影 ・切(充電) ・再生

M　**マニュアル撮影モード**
撮影方法を細かく設定できます。
(☞75ページ)

撮影　**フルオート撮影モード**
全自動で撮影ができます。(☞52ページ)

切(充電)　・**電源が切れます。**
・**充電するときに合わせます。**(☞46ページ)

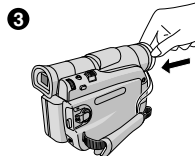
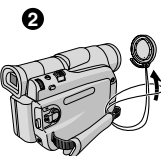
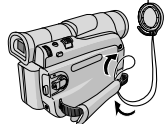
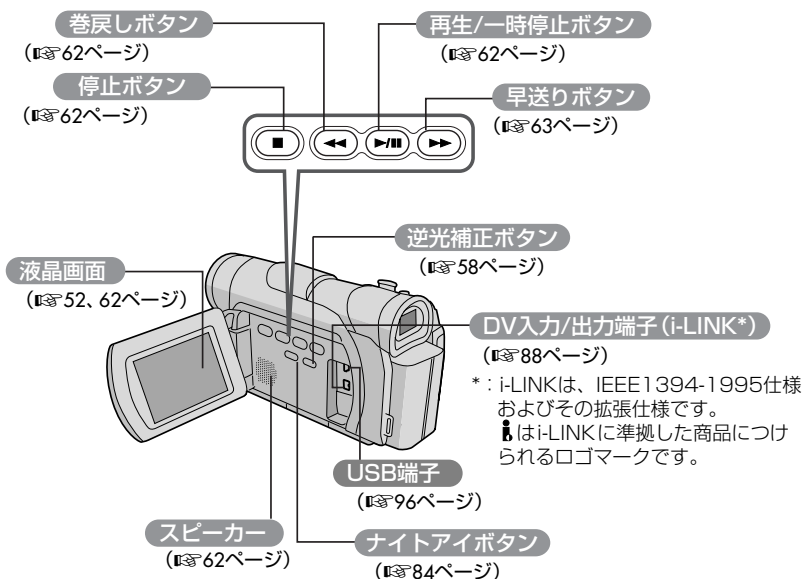
再生　**再生モード**
撮った映像を見るときに、切り替えます。
(☞62ページ)

電源ダイヤルが M および撮影のときは液晶画面を開く、またはファインダーを引き出したときに電源が入ります。

レンズキャップの取り付け方

レンズ保護のために付属のレンズキャップを取り付けてください。

矢印（▲）を上向きにします。

❶ ❷ ❸

三脚取り付けネジ穴

ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。

BATT．RELEASEスイッチ

(☞46ページ)

OPEN/EJECTスイッチ

(☞47ページ)

液晶画面とファインダー表示

ー撮影時の表示ー

明るさ固定表示
（☞77ページ）
ズーム倍率表示
（☞55ページ）
フルオート撮影表示
（☞52ページ）
ズーム表示 （☞55ページ）
ナイトアイ/感度アップ表示
：ナイトアイ
A：感度アップ
（☞84、98ページ）
A
40x W T
PHOTO
静止画（記念写真）撮影中表示
（☞56ページ）
白バランス表示
（☞78ページ）
±2 L
画面の明るさ表示
（☞54ページ）
明るさ補正/逆光補正表示
±2：明るさ補正
：逆光補正
（☞77、58ページ）
画面明るさ－ ＋
バッテリー残量表示
（☞42ページ）
2003. 12. 1
PM 2:00
プログラムAE表示
（☞82ページ）
日時表示 （☞104ページ）
マニュアルフォーカス表示
（☞76ページ）

ー再生時の表示ー

録画モード表示
(☞48、98ページ)
テープ動作表示
▶ 再生
▶▶ 早送り
◀◀ 巻戻し
❚❚ 静止
❚❚▶ 正転スロー
◀❚❚ 逆転スロー
音声モード表示
(☞66ページ)
12bit/音声1
SP
DV入力
画面の明るさ表示
(☞54ページ)
スピーカー音量表示
(☞63ページ)
音 量
ダビング表示
(☞87、89ページ)
DV入力：DV入力使用時
アナログ入力：S2入力または
AV入力使用時
2003. 12. 1
PM 2:46
01:28:15
タイムコード表示
(☞70ページ)
日時表示
(☞68、104ページ)
バッテリー
残量表示
(☞42ページ)

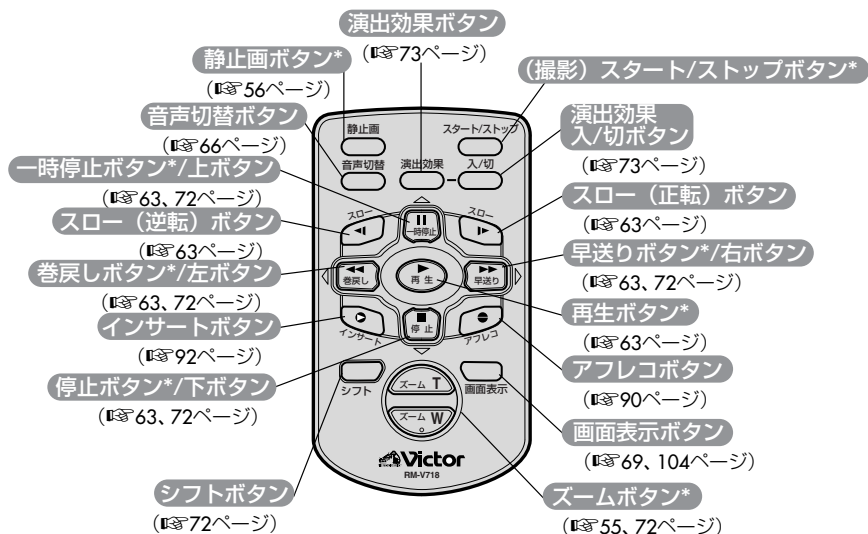
お知らせ表示

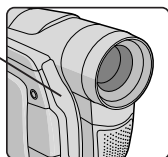
表示	表示内容	参照
	バッテリーの残量を表示します。 残量多い → 残量なし バッテリーが少なくなると が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	☞53
	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます。	☞113
テープを入れて下さい！	テープが入っていないときに撮影ボタンや静止画ボタンを押すと表示されます。	—
テープ終り	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズキャップ	レンズキャップがレンズについていると表示されます。	—
日時を設定して下さい	内蔵の時計用電池の容量がなくなり、日時情報が失われると表示されます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。	☞114
テープへ記録できません テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい	誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープで録画しようとしたときに表示されます。	☞113
撮影中は変更できません	撮影中に変更できないメニューを表示すると表示されます。	—
コピーガードがかかっています	コピーガードがかかった信号を本機でダビング（録画）しようとしたときに表示されます。	—
音声16bit（12bit）	電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせて電源が入ると、音声モードが約5秒間表示されます。	—
DV入力、アナログ入力	DV入力、S2入力またはAV入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	☞87 ☞89

表示	表示内容	参照
音声アフレコできません	テープの無記録部分でアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞90
音声アフレコできません <LPモードで記録されています> <16bitで記録されています> <テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはアフレコ編集できません。 • 16bit音声で録音されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。16bit音声で録音されたテープにはアフレコ編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞90
インサート録画できません	テープの無記録部分でインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞92
インサート録画できません <LPモードで記録されています> <テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはインサート編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞92
E01、E02、E06 保護回路が働きました バッテリーを外して付け直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 バッテリーと電源をはずして付けなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞150）にご相談ください。	—
E03、E04　保護回路が働きました テープを取り出し、入れ直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 テープを取り出して入れなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞150）にご相談ください。	—
ヘッドが汚れています クリーニングカセットを試して下さい	ヘッドが汚れているときに表示されます。 クリーニングカセットを再生して、ヘッドを清掃してください。	☞31
露が付きました しばらくお待ち下さい	つゆつきが発生したときに表示されます。 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。	☞32

各部のなまえ

リモコン

付属のリモコンを使って、ビデオカメラをリモートコントロールすることができます。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて使用します。

＊印のついているボタンは、ビデオカメラに付いているボタンやスイッチと同じはたらきをします。

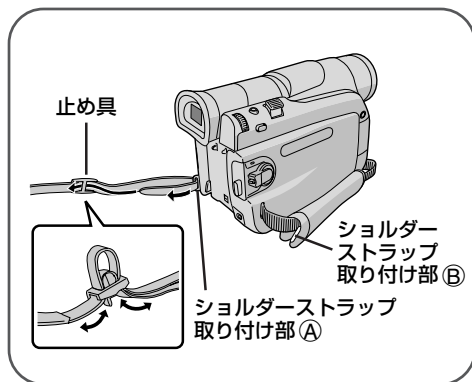
リモコン
受光部

リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約5mです。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

ビクターのビデオカメラを使う人が近くにいるときは

運動会など、半径5m以内にビクターのビデオカメラをリモコンで操作する人がいる場合、ビデオカメラがつられて動作してしまうことがあります。このようなときは、システムメニューの「リモコン」(☞102ページ)を切に設定することをお勧めします。

ショルダーストラップを取り付ける

移動中、落下したりしないようにしっかりと取り付けます。

1 ショルダーストラップ取り付け部 Ⓐ に通す

ショルダーストラップの先をショルダーストラップ取り付け部Ⓐに通します。

- バッテリーやDCコードは、はずしておきます。

2 止め具に通す

ショルダーストラップの先を長さ調整用の止め具に通します。

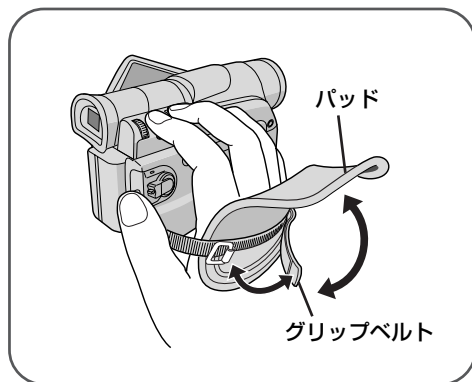
3 長さを調節する

調整用バックルに通っているショルダーストラップを少しゆるめて、長さを調節します。

4 ショルダーストラップ取り付け部 Ⓑ についても同様に❷〜❸を繰り返す

ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認します。

グリップベルトを手に合わせる

手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節します。

1 パッドをはがす

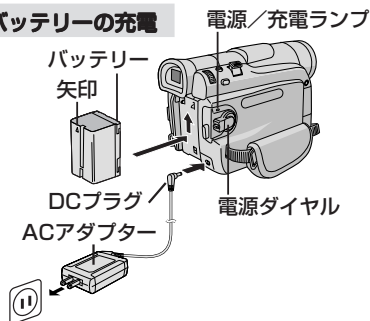
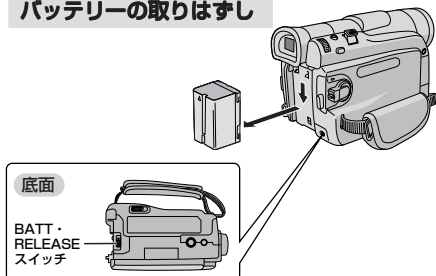
2 グリップベルトを調節する

手を入れてズームスイッチと撮影ボタンが操作しやすいように調節します。

3 パッドをはりつける

バッテリーを充電する/コンセントの電源を使う

バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取りつけ、AC アダプターを使用して充電します。
バッテリーをビデオカメラに取りつけるときは、バッテリーのキャップをはずしてください。

❶ バッテリーを取りつける
バッテリーの矢印を上向きにしてビデオカメラに押しつけるようにしながら上にスライドさせます。

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「切」に合わせる

❸ AC アダプターの DC プラグをビデオカメラの DC 入力端子に差し込む

❹ AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源／充電ランプが点滅します。
- 点滅から消灯に変わったら充電完了です。AC アダプターをはずしてください。

〈バッテリーを取りはずすときは〉

BATT．RELEASE スイッチをスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす
●上から下へスライドさせて手前に引いて取はずしてください。

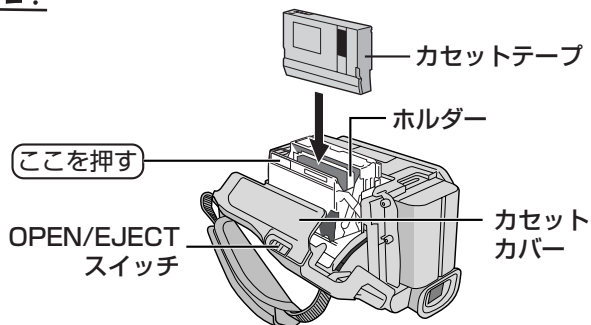
コンセントの電源でビデオカメラを動かす

室内で使うときは、ACアダプター（付属）を使ってコンセントから電源をとると便利です。
変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞116 ページ）
上の「バッテリーを充電する」の手順 ❸、❹を行ってください。

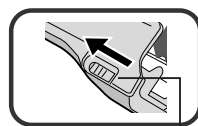
- **充電時間の目安（室温 10℃～35℃）** ➡ バッテリー（BN-V416：付属）で約3時間　バッテリー（BN-V428：別売）で約5時間
- **充電しても撮影時間が短い** ➡ 寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- **充電できない** ➡ 電源が入っているときは、充電できません。
- バッテリーについて ➡ 114 ページもご覧ください。

ご注意
AC アダプターが、温かくなることがあります。

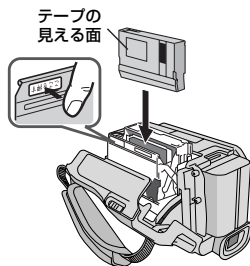
カセットテープを入れる・取り出す

電源（バッテリーまたはACアダプター）がつながれていれば、電源ダイヤルが「切」のままでもホルダーを開けることができます。

❶ OPEN/EJECTスイッチを矢印方向にスライドさせて、手でカセットカバーを開く

- 自動的に、ホルダーが開きます。

- 内部の部品を直接手でさわらないでください。

❷ カセットテープをホルダーに入れ ここを押す を押す

- カセットテープは奥まで確実に入れてください。
- 自動的にテープが収納されます。

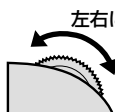
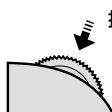
ご注意
- ここを押す 以外は押さないでください。

❸ カセットカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

- テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

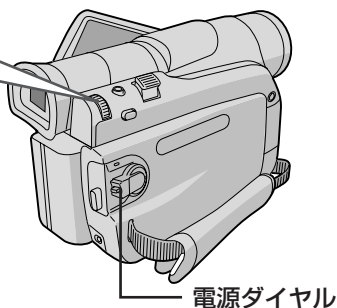
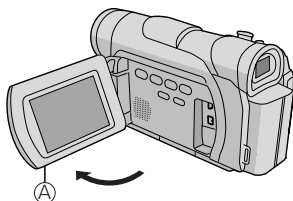
- ホルダーに指をはさまないようにご注意ください。
- テープがからまるなど、一度トラブルのあったテープをご使用になると、ビデオカメラの故障の原因となりますので、使用しないでください。

カセットテープを取り出す

上の手順 ❶ のあとでカセットテープを引き上げて取り出す

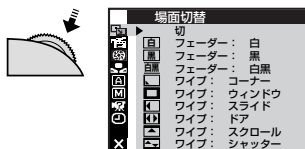
テープへ記録する録画モードを選ぶ

録画モードとは

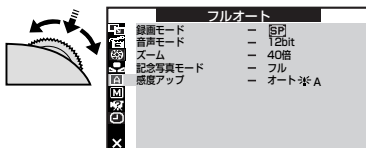
● SP モード：標準、LP モード：1.5 倍

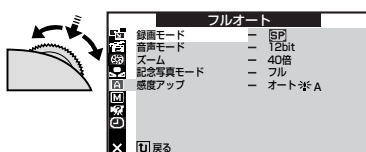
SP モードと LP モードの２種類の録画モードがあります。LP モードでは SP モードに比べ1.5倍長く撮影することができます。ただしLPモードにするとアフレコ編集（☞90ページ）とインサート編集（☞92 ページ）ができなくなります。

❶ Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

- 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。

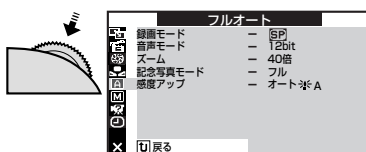
❸ メニューダイヤルを押す

- メニュー画面が表示されます。

4 メニューダイヤルを回して「A」を選び、ダイヤルを押す

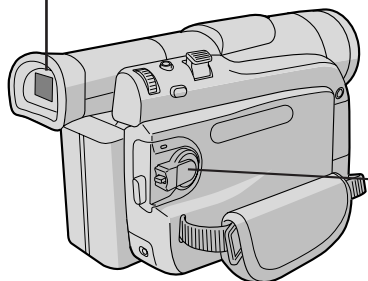
● フルオートメニューが表示されます。

5 メニューダイヤルを回して「録画モード」を選び、ダイヤルを押す

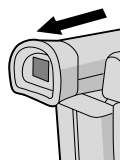
●「SP」と「LP」が表示されます。

6 メニューダイヤルを回して「SP」または「LP」を選び、ダイヤルを押す

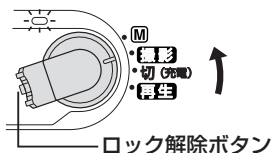
7 メニューダイヤルを２回押す

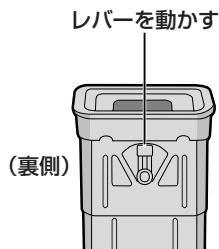
● 撮影画面に戻ります。

ファインダーを調節する

●視力とファインダー表示が合わないとき

ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。

❶ ファインダーを引き出す

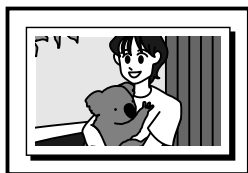
● 液晶画面は閉じておいてください。

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

● 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。

❸ ファインダーをのぞいてレバーを動かす

● ファインダー内の表示が良く見えるように調節します。

撮影

撮りたいものを撮ってみよう！

電源ダイヤルを「撮影」に合わせておけば、全自動で撮影ができます。
また、ズーム撮影、記念写真撮影、逆光補正なども簡単にできます。

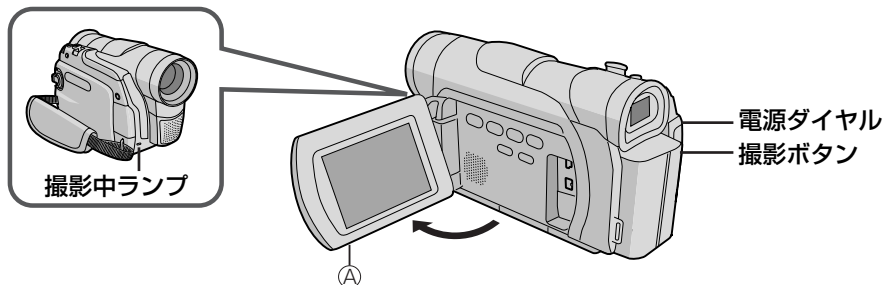
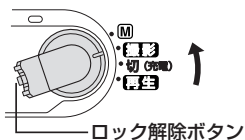
ズーム撮影

記念写真撮影

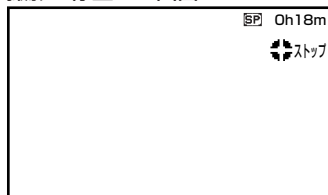
逆光補正

録画モード設定は☞48ページ、日時表示設定は☞105ページ

テープに撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

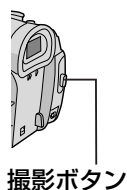
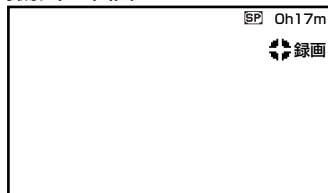
操作はココ！

❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」に合わせる

❷ Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

- 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。
- 撮りたい被写体に合わせます。

❸ 撮影ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 撮影中ランプが点灯します。
- 再度押すと録画一時停止になり、ストップ表示がでます。

撮影中の画面

SP 0h17m

録画

連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約3時間30分	約2時間30分
BN-V428（別売）	約6時間20分	約4時間20分
VU-V840KIT*（別売）	約7時間30分	約5時間20分
VU-V856KIT*（別売）	約11時間10分	約8時間10分

＊ VU-V840KITおよびVU-V856KITは、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、DCコードでバッテリーポーチと本体を接続して使用します。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。（☞30 ページ）

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約1時間40分	約1時間10分
BN-V428（別売）	約3時間10分	約2時間10分
VU-V840KIT*（別売）	約3時間45分	約2時間40分
VU-V856KIT*（別売）	約5時間35分	約4時間5分

連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約３倍分をご用意されることをおすすめします。
実撮影時間は撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

● ５分以上撮影を一時停止したときは

ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、液晶画面を一度閉じて再び開いてください。または、ファインダーを一度入れ再び引き出してください。

● 液晶画面が見づらいときは

光の反射などで液晶画面が見づらいときは、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。

● テープの残量を確認するには

撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り２分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープ終り」と表示されます。

● バッテリー残量表示（ ）が点滅したら

バッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

● 正常に録画できないときは

ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞31 ページ）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認してください。

次ページへつづく

● 液晶画面とファインダーは同時に使えません

液晶画面とファインダーに同時に映像を表示することはできません。液晶画面を開いた状態でファインダーも引き出されている場合は、液晶画面が優先されます。

ファインダーを優先したい場合は、システムメニューの「優先設定」を「ファインダー」に変更してください。（☞102ページ）

● 画面の明るさを調節したいときは

液晶画面やファインダーの映像が見づらいときは、明るさを調節してから撮影や再生を行います。

画面の明るさは撮影日時／表示メニュー、再生日時／表示メニュー、静止画再生メニューで調節できます。

ここでは、撮影日時／表示メニューで調節する方法を説明します。

① ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせる

② 液晶画面を開く

・ファインダーの明るさを調節するときは、液晶画面を閉じ、ファインダーを引き出します。

③ メニューダイヤルを押す

④ メニューダイヤルで「」を選び、ダイヤルを押す

・撮影日時／表示メニューが表示されます。

⑤ メニューダイヤルで「画面明るさ」を選び、ダイヤルを押す

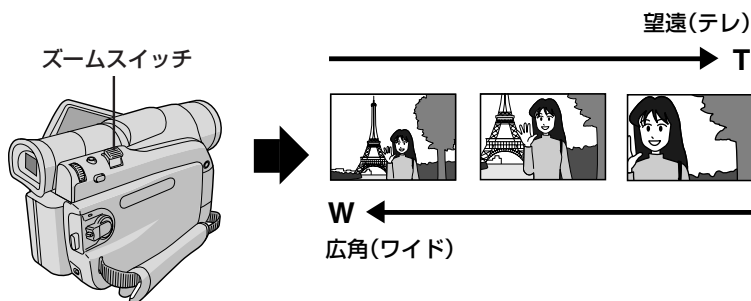
⑥ メニューダイヤルを回す

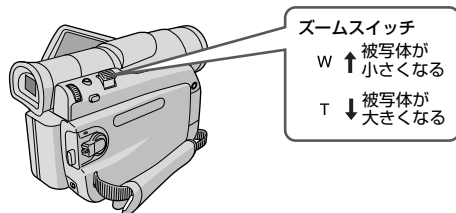
・見やすい明るさに調節します。

⑦ メニューダイヤルを押して決定する

ズームして撮影する

●被写体が遠いところにいるときや、画面に変化をつけたいとき

被写体をズームして撮影することができます。

1 ズームスイッチを動かす

● 軽く動かすとゆっくりズームし、強く動かすと早くズームします。

●**最大ズーム倍率** ➡ 何倍までズームを可能にするか変更できます。（☞98 ページ）

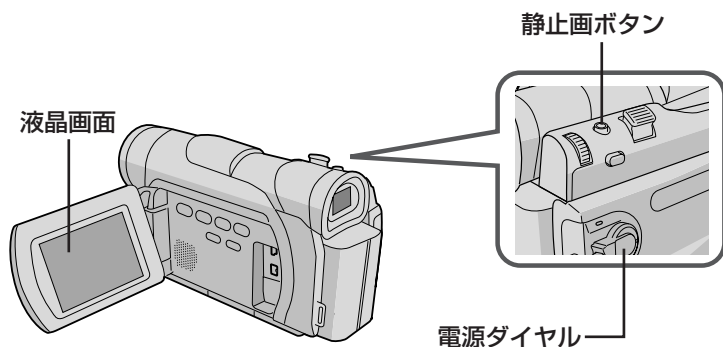
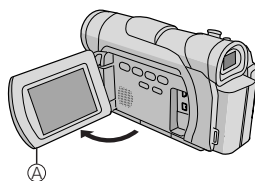
●**接写したいとき（マクロ撮影）** ➡ W側にいっぱいまで押すとレンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影可能。
T側のときは、約1m。（テレマクロ“入”のときは約60cm）（ピントが合わない距離では、▲̲▲、▲、▼、👤 が点滅して自動的にズームがW側になります。）

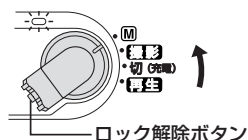
●**16倍以上のズーム（デジタルズーム）** ➡ 16倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。（デジタル処理をするため）

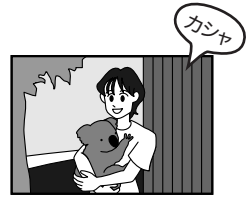
●**16倍以上のズームが使用できない** ➡ ●映像をデジタル処理する機能との併用はできません。

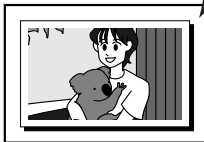
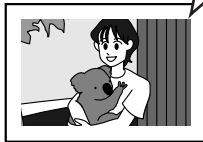
テープに静止画（記念写真）を撮る

●被写体の表情などをワンポイントで記録したいとき

ビデオテープの中に写真のような映像を挿入することができます。

❶ Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「Ⓜ」または「撮影」に合わせる

● 電源／充電ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

- 静止画像が約 6 秒間記録されます。
- 押し続けると静止画像が約 1 秒ごとに連写されます。

記念写真(静止画)モードについて

記念写真モードには、3 つのモードがあります。これらのモードはメニュー画面で選択することができます。(☞99 ページ)

●撮影中に記念写真を撮影したときは
静止画像が約6秒間記録され通常の撮影に戻ります。

●記念写真撮影ができないときは
静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。

●AV 端子にコードが接続されているときは
「カシャ」音は出ません。ただし、テープには記録されます。

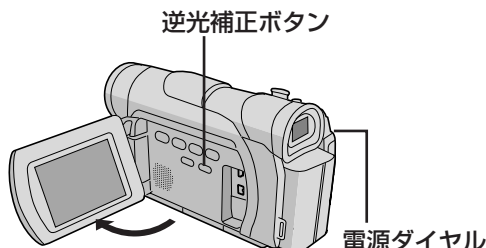
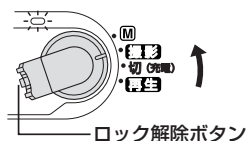
●演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。
このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

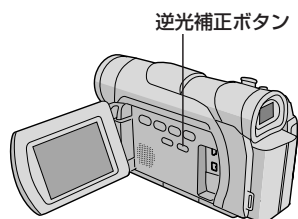
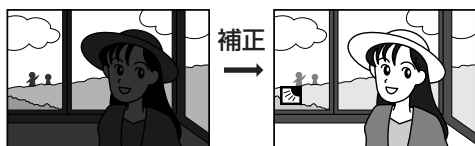
●再生中も記念写真モードを使えます
「カシャ」音は出ません。

撮影

逆光を補正する

●太陽などで背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき

逆光補正ボタンで被写体が暗くならないように補正します。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

2 逆光補正ボタンを押す

- 画面に逆光補正マークが表示されます。
- 再度押すと、逆光補正を解除します。

●**逆光補正ボタンを使うと**
被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。

●**より適切な明るさに調節するときは**
手動で明るさ補正してください。（☞77 ページ）

●**手動で明るさ補正しているときは**
逆光補正ボタンは、使えません。

知って得する ビデオ撮影のコツ

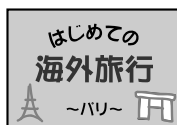
楽しいビデオアルバムを作りましょう

ポイント❶
楽しいビデオアルバムを作るには、撮影前にシナリオを考えておきます。

ポイント❷
ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリを。

ポイント❸
人物だけではなく、周囲の様子も撮影して、雰囲気を残しましょう。

海外旅行編

1 タイトルを作る

これから撮影するビデオのタイトルをつくり、5秒程度撮影します。

2 旅行前の様子

旅行用ビデオのシナリオを考えます。旅行のポイントを押さえておきます。

3 出国／入国

出国・入国の際には、ビデオカメラの日時を現地時間に設定しましょう。

4 名所

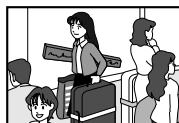
名所の前で記念写真を撮影。ズームインして、迫力をもたせます。

5 ディナーも記念に

旅行先での豪華な食事。接写してもきれいに撮影できます。

6 買い物風景

ストリートショップでおみやげを購入。撮影禁止場所に注意しましょう。

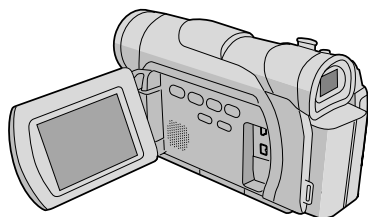
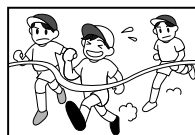
7 帰国

帰国した様子を最後とし、シナリオを締めくくりましょう。

・「海外でお使いになるときは」（116ページ）もお読みください。

再生

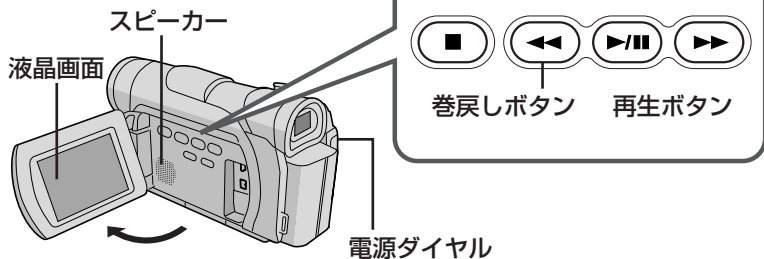
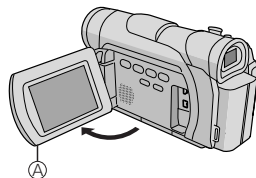
撮った映像を見てみよう！

撮影した映像を、液晶画面ですぐに見ることができます。また、テレビやビデオデッキにつないで見れば、迫力ある映像を楽しめます。さらに、リモコンを使えば、ズーム再生することも可能です。

テレビやビデオデッキにつないで再生

液晶画面ですぐに再生

ズームして再生

ビデオカメラの画面で見る

●撮ったその場で映像を確認したいとき

ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。

1 Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

● 電源／充電ランプが点灯し、電源が入ります。

3 巻戻しボタン（◀◀）を押してテープを巻戻す

4 再生ボタン（▶/II）を押す

● 画面に再生映像が映り、音声がスピーカーから出ます。ただし、映像／音声コード接続時は音声が出ません。

● 再生をやめたいときは、停止ボタン（■）を押します。

音量調節するには

メニューダイヤルを回します。

色々な再生

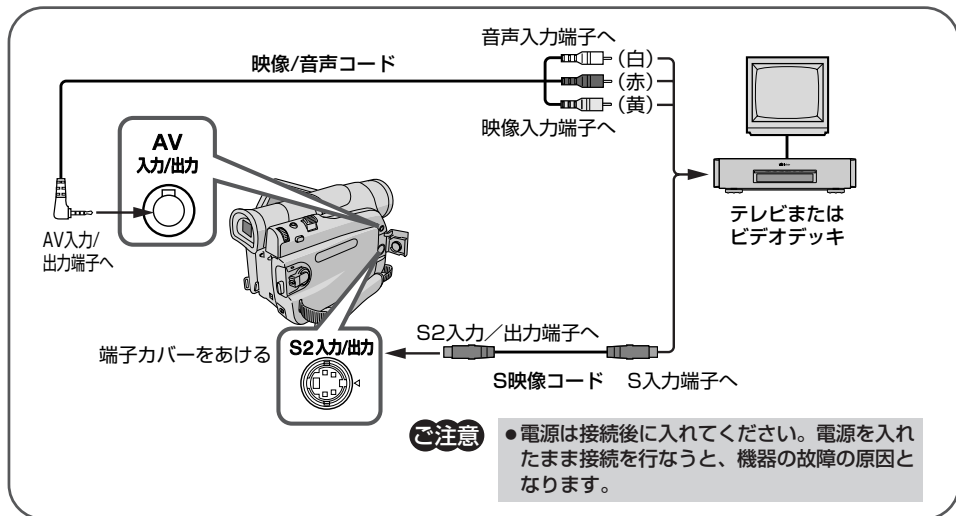
こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す	
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に ►►	1度ポンと押す	►/❚❚	再生ボタンを押す
		押し続ける		指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に ◄◄	1度ポンと押す	►/❚❚	再生ボタンを押す
		押し続ける		指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に ►/❚❚		►/❚❚	再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） スロー ◄❚ スロー ❚►	どちらか一方を2秒以上押す	►/❚❚ ► 再 生	ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約5分、または逆転スロー再生を約5分(80分テープのときは20秒）続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） スロー ◄❚ スロー ❚►	どちらか一方を押すたびにコマ送りします	►/❚❚ ► 再 生	ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

- 静止画再生を約3分続けると自動的に停止します。
- 早送り／巻戻し再生、スロー再生中は映像が乱れることがあります。また、音声は出ません。
- スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
- 停止状態を５分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが「再生」で、ACアダプターからの電源供給時は､電源が切れません。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください。（☞31 ページ）

テレビまたはビデオデッキにつないで見る

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機をS映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

ご注意

●電源は接続後に入れてください。電源を入れたまま接続を行なうと、機器の故障の原因となります。

1 ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

2 テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

● ビデオカメラをテレビに接続したとき
　テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
　(例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ムービー」など)。

● ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき
　テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

4 再生する（☞62 ページ）

●ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。

●テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

●テレビに映る文字や表示を消すには

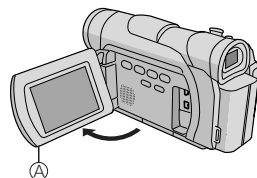
再生日時/表示メニューで、次のように設定してください。（☞104ページ）

· 画面表示切替→「モニター」または「切」
· 日時表示→「切」
· タイムコード→「切」

テープの録画されていない部分を探す（ブランクサーチ）

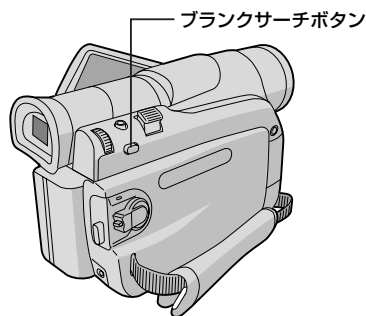
●テープの途中から撮影したいとき

ビデオテープの中にある５秒間以上録画されていない部分を探します。途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生したあとなどに撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

● 液晶画面に青い画面が表示されます。

3 ブランクサーチボタンを押す

● ブランクサーチがスタートします。
５秒間以上の録画されていない部分を見つけると、約３秒手前で自動的に停止します。
● ブランクサーチを中止するには、停止ボタン（■）を押します。

●すでに映像が記録されている部分でも、５秒間以上の録画されていない部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。

●録画されていない部分から約3秒手前まで巻き戻して停止しますので、そこから録画をスタートすると、約3秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。

●ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、録画されていない部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

再生

再生音声を切り替える

● テープを再生するとき､ステレオ音声または左右どちらかの音声のみで再生するか設定するとき（音声切替）

● アフレコ編集したテープを再生するとき、撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定するとき（12bit 音声）

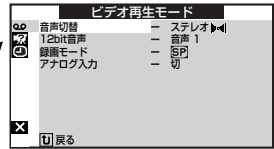
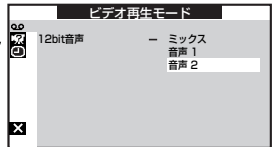
アフレコ編集（☞90ページ）したテープでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）のどちらを再生するか選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

❶ Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

❸ メニューダイヤルを押す

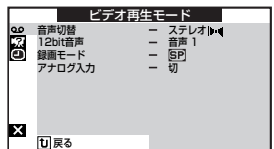
❹ メニューダイヤルで「音声切替」、または「12bit 音声」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルでお好みのモードを選び、ダイヤルを押す

- 「音声切替」のモードについて

ステレオ	：	ステレオ音声で聞きたいとき
音声 L	：	左の音声のみ聞きたいとき
音声 R	：	右の音声のみ聞きたいとき

- 「12bit 音声」のモードについて

ミックス	：	撮影時の音声とアフレコ音声を同時に聞きたいとき
音声 1	：	撮影時の音声を聞きたいとき
音声 2	：	アフレコ音声を聞きたいとき

❻ メニューダイヤルを 2 回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

● 再生中の音声モード（12bit/16bit）を確認するには

ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り / 巻戻し再生中は自動判別できません）。

● リモコンで再生時の音声を切り替えるときは

メニュー画面を表示しなくても、音声切替ボタンを押すたびに「ステレオ→音声L→音声R→ステレオ…」の順に音声が切り替わります。

● 12bit/16bit 音声について

従来のビクター製ビデオカメラでは、12bit 音声を 32kHz 音声、16bit 音声を 48kHz 音声と表現しています。

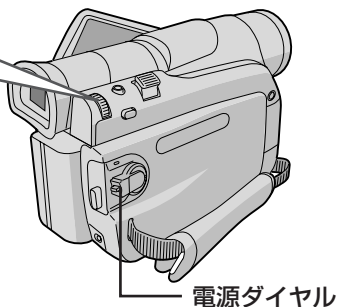
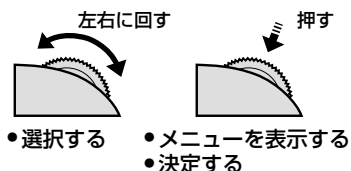
再生

日時表示を切り替える

●日時表示を出したり、消したりしたいとき

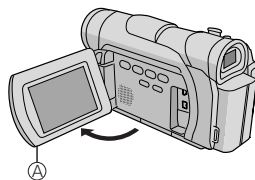
テープに撮影すると、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。テープを再生するときに日時表示を出したり消したりすることができます。

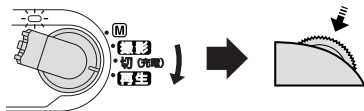
操作はココ！

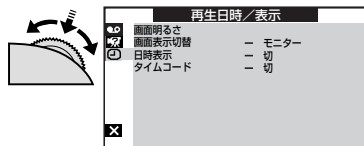
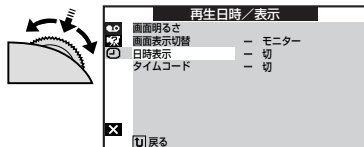
メニューダイヤルの使いかた

左右に回す　　押す

●選択する　　●メニューを表示する
●決定する

電源ダイヤル

❶ Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開く

❷ 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

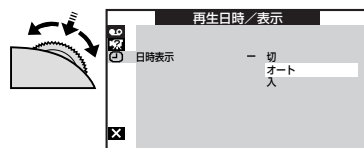
- メニュー画面が表示されます。

❸ メニューダイヤルで「◙」を選び、ダイヤルを押す

- 再生日時 / 表示メニューが表示されます。

❹ メニューダイヤルで「日時表示」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルで「お好みのモード」を選び、ダイヤルを押す

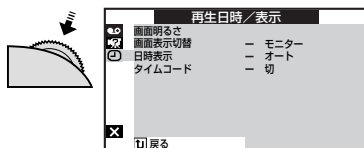
●「日時表示」のモードについて

切　　：日時表示を出したくないとき

オート：日時表示を再生開始から５秒間のみ出したいとき
（撮影された日時が表示されます。）

入　　：常に日時表示を出したいとき

再生

❻ メニューダイヤルを２回押す

● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

● 日時表示メニューは、電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞104ページ）

●「日時表示」の設定（入／切）はリモコンの画面表示ボタンでも切り替えることができます。

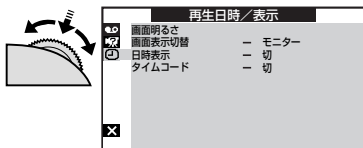
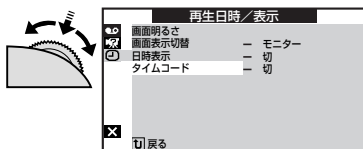
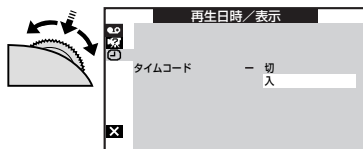
タイムコード表示を設定する

●テープの位置を確かめたいとき

テープに撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にテープに記録されます。ビデオの再生、撮影の際にタイムコードを表示すると、テープの位置を確かめる目安となります。

例)「タイムコード」を「入」に設定する

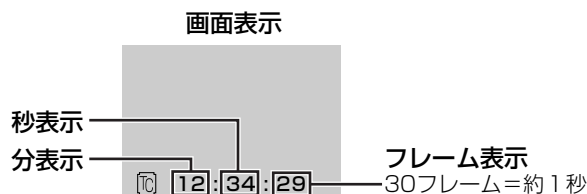
1 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

2 メニューダイヤルで「[時計]」を選び、ダイヤルを押す

3 メニューダイヤルで「タイムコード」を選び、ダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルを 2 回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

日時表示メニューは電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞104 ページ）

タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの1コマ1コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録していきます。「タイムコード」はビデオの撮影、再生の際に、映像の位置を確かめる目安になります。

- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は、分と秒のみ表示されます。

テープの途中に無記録部分があると

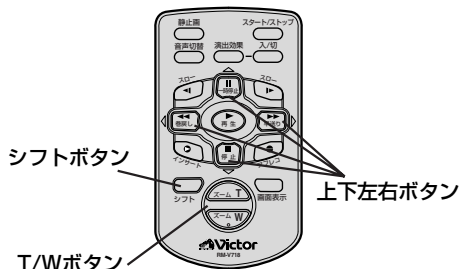
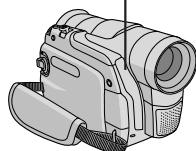
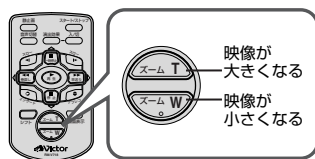
テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、テープの位置を確かめることができなくなります。

次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。

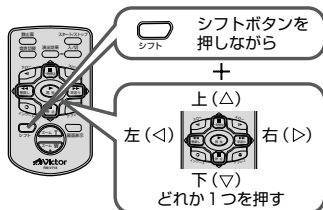
- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
- 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

ズームして再生する

●再生中に画面をズームしたいとき

付属のリモコン（☞44ページ）を使うと、ビデオカメラでテープを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。

❶ 再生中に画面をズームするには、リモコンの「T」ボタンを押す

通常再生　ズーム再生（12倍まで）

再生一時停止／スロー再生中もズームできます。

❷ 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

拡大再生　画面移動

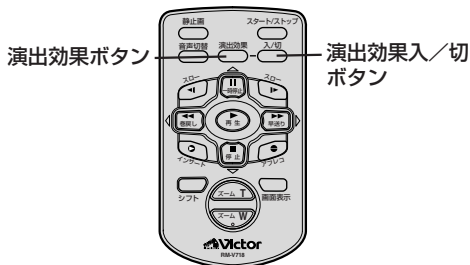
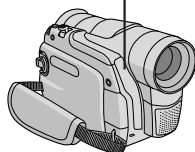
●ズームをやめたいときは
通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

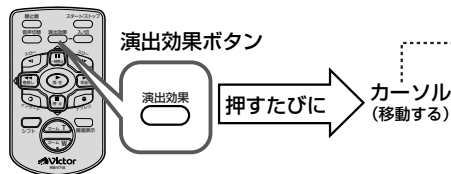
●ズームしたときの映像は
通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

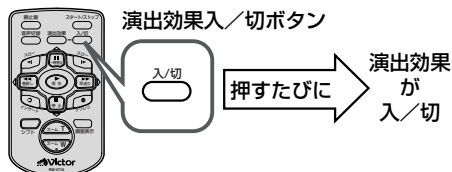
演出効果を加えて再生する

●再生中に効果を加えて楽しみたいとき

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときの映像に演出効果（プログラム AE ☞82ページ）を加えることができます。

再生

❶ ビデオカメラの再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す

❷ 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

●演出効果入／切ボタンで選んだ演出効果をいつでも入／切できます。

知って得する ビデオ撮影のコツ

お子様の元気な様子を鮮明に残しましょう

ポイント❶

プログラムは事前にチェックします。演技の順番や場所、スタートの位置を確認し、場所を選びます。

ポイント❷

運動会の当日だけではなく、前日の様子や始まる前、お昼休み中などの様子も撮影します。

ポイント❸

遠くから撮影する場合やオートでピントが合わないときは、手動で撮影する方法もあります。

運動会編

1 入場門

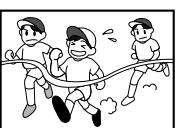
始まる前に、校舎やタレ幕、はしゃいでいる子供達の様子を撮ります。

2 入場行進

入場門の横で低い位置に構えて待ちます。人物の動きに合わせてゆっくり撮影。

3 玉入れ

空を一緒に撮ると、子供達が暗く写るので、高い位置からねらいます。

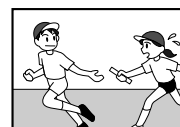
4 徒競走

ゴールに近い位置からズームインし、ズームアウトしながらゴールを。

5 お昼の休憩

お弁当を食べている様子も撮りましょう。三脚を使うと全員入ります。

6 綱引き

まず全員をズームアウトして撮り、お子様の顔や勝利の瞬間をアップで。

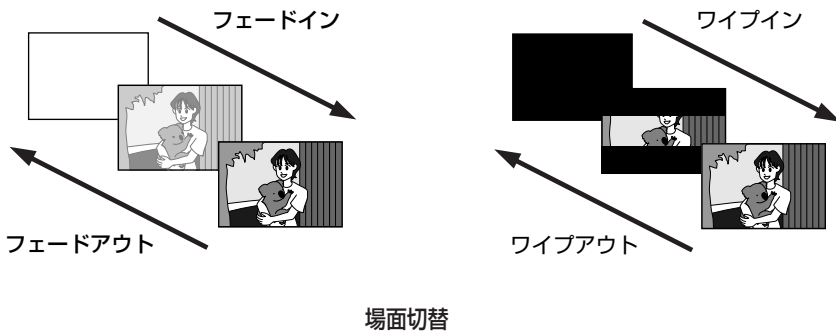
7 リレー

バトンタッチの少し手前で構え、走っている様子を追いかけます。

8 表彰式

喜びの表情、くやしい表情など、子供達の表情や全体を撮ります。

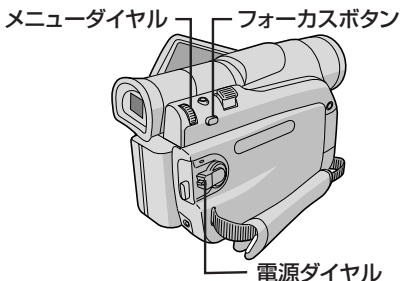
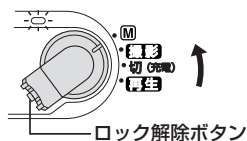
手動

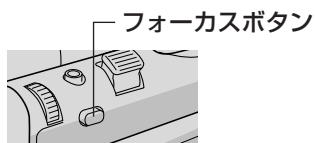
マニュアル（手動）撮影で さらに高度なビデオライフを！

電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせると、マニュアル撮影ができます。手動でピントを合わせたり、明るさや白バランスの調整をしたいときなどに役立ちます。また、変化をつけて場面をつなぐ「場面切替」で、映像を楽しめます。

場面切替

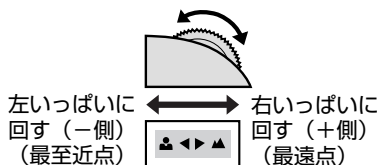
ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

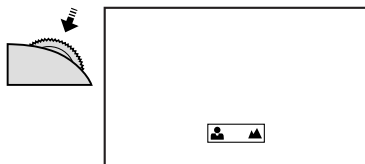
●ピントが合いにくいとき

オートフォーカスでは、約５センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせてください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせる

❷ フォーカスボタンを押す

● ピントの調整モードになります。

❸ メニューダイヤルを回してピントを合わせる

● 被写体が良く見えるように合わせます。

左いっぱいに回す（－側）（最至近点）
右いっぱいに回す（＋側）（最遠点）

❹ メニューダイヤルを押す

● フォーカスが固定します。固定したピントを合わせ直したいときは、手順 ❷からくり返します。

<ピントをオートフォーカスに戻すには>

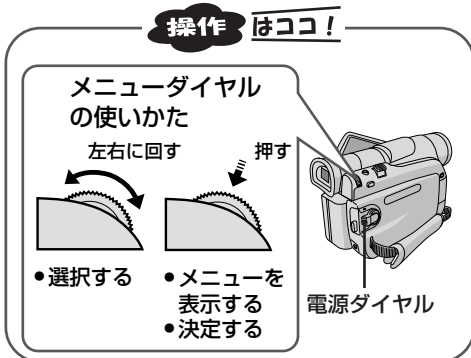
● 手順 ❷ でフォーカスボタンを２回押します。
● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。

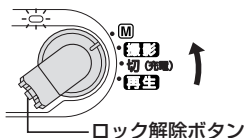
●こんなときに手動でピントを合わせます

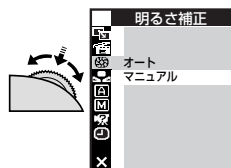
・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

画像の明るさを調節する（明るさ補正）

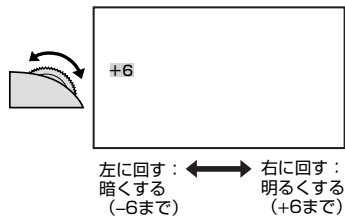
●逆光補正ボタン（☞58ページ）で補正できないとき
●スポットライト機能（☞82ページ）で補正できないとき

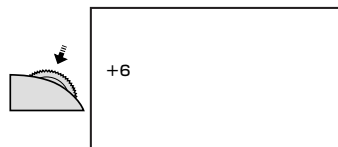
太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるとき、逆光補正ボタンやスポットライト機能では補正しきれないことがあります。このようなときは、手動で明るさを調節してください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「[明るさ補正アイコン]」を選び、ダイヤルを押す

● 明るさ補正メニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルで「マニュアル」を選び、ダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルを回して明るさを調節する

● 被写体を程良い明るさに調節します。
●「＋３」は逆光補正ボタンと同じ効果です。
●「－３」はスポットライト機能と同じ効果です。

❺ メニューダイヤルを押す

● 明るさの補正が固定されます。
固定した明るさを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。

＜明るさを自動調節に戻すには＞

● 手順❸で「オート」を選択します。
● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせても自動調節に切り替えることができます。

● 一定の明るさで撮影するには

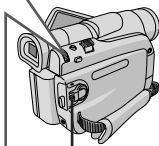
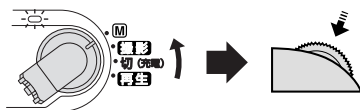
・手順❹のあと、メニューダイヤルを2秒以上押す。
明るさ調節表示の数字の横にLが表示されます。
・再度メニューダイヤルを押す
明るさが固定されます。動きのある被写体や、ズーム操作を行うときなど画面上の被写体を一定の明るさにすることができます。

● 明るさ補正機能は

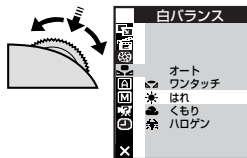
逆光補正ボタン（☞58ページ）、スポットライト機能（☞82ページ）、スノー機能（☞82ページ）などとの併用はできません。

画像の色合いを調節する（白バランス）

●画像の色合いが不自然なとき

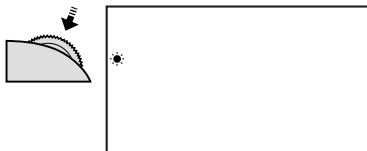
ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候やビデオライトなど光源の状態によって、自然な色合いを再現できないときは、手動で白バランスを設定してください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

❷ メニューダイヤルで「[白バランスアイコン]」を選び、ダイヤルを押す

● 白バランスメニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルでモードを選択し、ダイヤルを押す

次の5つのモードから選択できます。

- オート ……………… 自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- [ワンタッチアイコン] ワンタッチ ……… あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☞79ページ)
- [はれアイコン] はれ ……………… 晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- [くもりアイコン] くもり ……………… 曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- [ハロゲンアイコン] ハロゲン ……………… ビデオライトなどの照明を使用して撮影するときに選択します。

❹ メニューダイヤルを押す

● 白バランスが固定されます。

<白バランスを自動調節に戻すには>

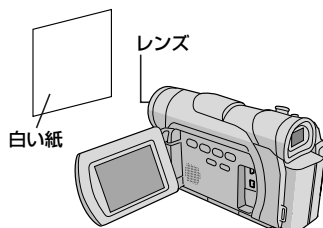
● 手順 ❸ で「オート」を選択します。

白バランスを正確に設定する

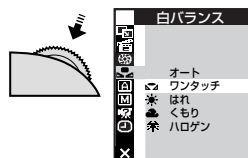
●自然な色で撮影したいとき

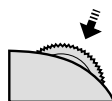
ビデオカメラに設定されている白バランスモードで撮影するより正しい色で撮影することができます。

❶ レンズの前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映す

- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（☞76 ページ）であわせてください。
- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。

❷ 前ページ（☞78 ページ）の手順 ❸で「ワンタッチ」を選ぶ

❸「 」が点滅するまでメニューダイヤルを押し続ける

- 「 」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。

❹ メニューダイヤルを 2 回押す

- 「 」が表示されます。

●設定した白バランスは
「ワンタッチ」に別の白バランスを設定するまで記憶されています。

●室内で撮影するときは
外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。自然な色合いで撮影したいときは白バランスを調節してください。

手動

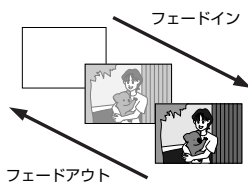
変化をつけて映像をつなぐ（場面切替）

● 場面と場面のつなぎ目に変化をつけたいとき

「白・黒画面で切替」を使ったときの効果

1）フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。

（例）白 白フェーダー

2）ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。

場面切替には９種類の効果があります。

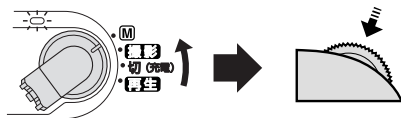
■白・黒画面で切替

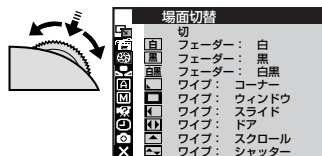
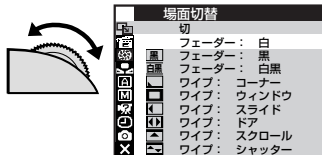
アイコン	効　果
白 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
黒 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
白黒 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

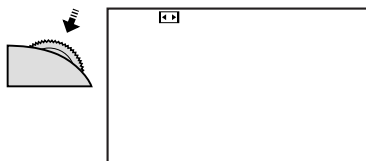
●アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。
（☞81 ページ）

場面切替を設定する

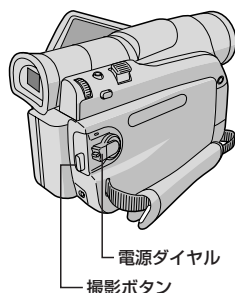
❶ **電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

● メニュー画面が表示されます。

❷ **メニューダイヤルで「」を選び、ダイヤルを押す**

● 場面切替メニューが表示されます。

❸ **メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ**

❹ **メニューダイヤルを 2 回押す**

● 選択した場面切替が設定され、画面に選択した場面切替のアイコンが表示されます。

❺ **撮影ボタンを押す**

● 選択した場面切替でビデオを撮り始めます。

● もう一度撮影ボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。

<場面切替をやめたいときは>

● 手順 ❸ で「切」を選択します。

●場面切替設定とプログラムAE設定（☞82ページ）を一緒に使うと

さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、プログラム AE 設定と一緒に使えない場面切替があります。
場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

映像に変化をつける（プログラムAE）

● 映像そのものに変化をつけたいとき

被写体をセピア色に撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮影することなどができます。
プログラム AE は全部で 10 種類の効果があります。

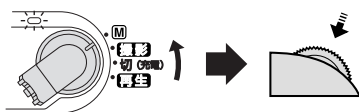
アイコン	効　果
1/60 シャッター1/60	テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100 シャッター1/100	蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ）
スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞ 58ページ）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます。（☞78ページ）ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

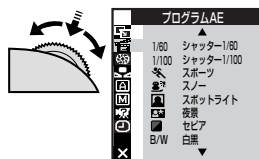
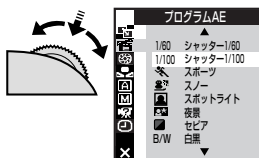
アイコン	効　果
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞100ページ）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W 白黒	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。

● アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞83 ページ）

プログラムAEを設定する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

❷ メニューダイヤルで「」を選び、ダイヤルを押す

● プログラム AE メニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルでお好みのプログラム AE を選ぶ

❹ メニューダイヤルを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

＜プログラム AE をやめたいときは＞

● 手順 ❸ で「切」を選択します。
「切」が表示されるまでメニューダイヤルを回してください。

● シャッターモードまたはスポーツモードを使うときは

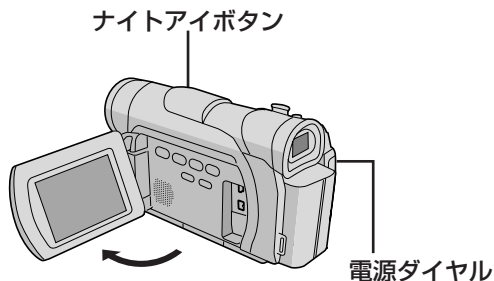
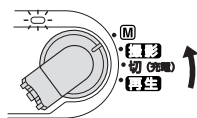
シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

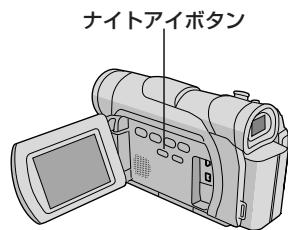
● プログラムAE設定と場面切替設定（☞80ページ）**を一緒に使うと**

さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えないプログラム AE があります。プログラム AE 設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

暗い場所で撮影する（ナイトアイ）

● 暗い場所の映りにくい被写体を撮影するとき

被写体の明るさに応じてビデオカメラがシャッタースピードを自動調整して、被写体を最大約30倍まで明るくさせて撮影することができます。照明を点灯させたくないときなどにお使いください。

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせる

❷ ナイトアイボタンを押す

- 「🦉」マークが表示されます。
- ナイトアイが働いているときは、「🦉」マークの横に「A」マークが表示されます。

＜ナイトアイをやめたいときは＞

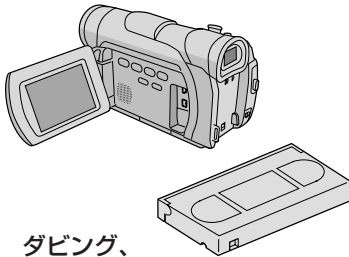
再度、ナイトアイボタンを押します。
「🦉」マークが消えます。

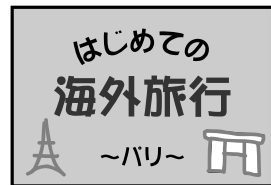
- ナイトアイ設定中は、働かない機能があります。この場合、その機能のアイコンが点滅、または表示されません。〔プログラムAEの一部（☞82ページ）、感度アップ（☞98ページ）、手振れ補正（☞100ページ）〕

- 撮影した映像は、コマ落としの効果がついたようになります。
- ナイトアイが働いているときは、ピントが合いにくくなりますので三脚を使用することをおすすめします。
- ナイトアイ設定中でも被写体が明るいときは、「A」マークが表示されずナイトアイは働きません。

編集

撮影した映像を編集して楽しもう！

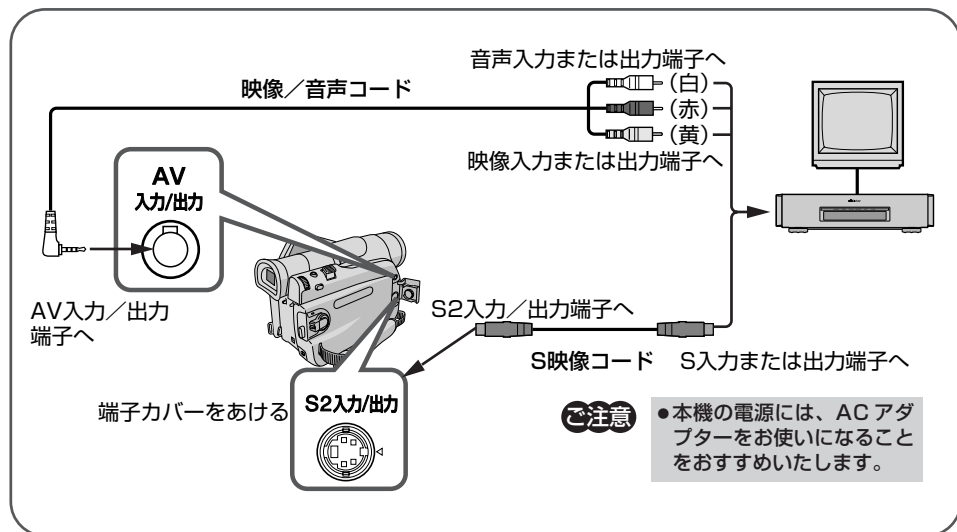
撮影した映像をVHSテープにダビングして友人などに送ったり、ビデオカメラから他のビデオ機器にデジタルダビングしたりできます。また、付属のリモコンを使えば、後からナレーションやBGMなどを入れるアフレコ編集や、タイトルなど別の場面を挿入するインサート編集などが楽しめます。

ダビング、
デジタルダビング

アフレコ編集

インサート編集

ダビングする

本機を再生側として使う

●ビデオデッキを使ってダビングしたいとき

S映像端子付きのビデオデッキと本機をS映像コードを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子を映像／音声コードで接続する

● S映像コードでビデオをダビングするときは、本機のS2入力／出力端子とビデオデッキのS入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで
ビデオデッキの録画ボタンを押す

● ダビングをやめるときは、ビデオデッキの停止ボタンを押してください。

●画面の文字や表示を消すには
再生日時／表示メニューで、次のように設定してください。(☞104 ページ)
· 画面表示切替→「モニター」または「切」
· 日時表示→「切」
· タイムコード→「切」

●ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

本機を録画側として使う

● VHS テープなどから DV テープへダビングしたいとき

ビデオデッキなど、DV端子を持たないビデオ機器からビデオカメラへダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機の AV 入力／出力端子とビデオ機器の映像／音声出力端子を映像／音声コードで接続する（☞86 ページ）
- S 映像コードでダビングするときは、本機の S2 入力／出力端子とビデオ機器の S 出力端子を接続してください。

2 **テープへ記録する録画モード（SP または LP）を選ぶ（☞ 48 ページ）**

3 **ビデオ機器の電源を入れる**

4 **電源ダイヤルを「再生」に合わせる**

5 **メニューダイヤルを 2 回押す**
- ビデオ再生モードメニューが表示されます。

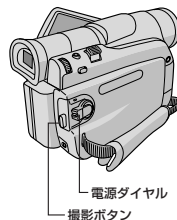
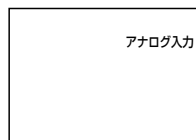
6 **メニューダイヤルで「アナログ入力」を選び、ダイヤルを押す**

7 **メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す**

8 **メニューダイヤルを 2 回押す**
- 通常の画面に戻ります。

9 **撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態になり、画面に「アナログ入力」と表示されます。

10 ビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
- 録画を開始し、 表示が回転します。

11 **録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態に戻り、 表示の回転が停止します。

ご注意
ダビング終了後は、手順❼で「アナログ入力」の設定を「切」に戻してください。
「入」のまま再生すると、ご使用のビデオ機器やテープにより映像が乱れることがあります。
また、画面に映像が表示されないことがあります。

- アナログ信号がデジタル信号に変換されてテープに記録されます。
- 他のビデオカメラから本機へダビングすることもできます。

編集

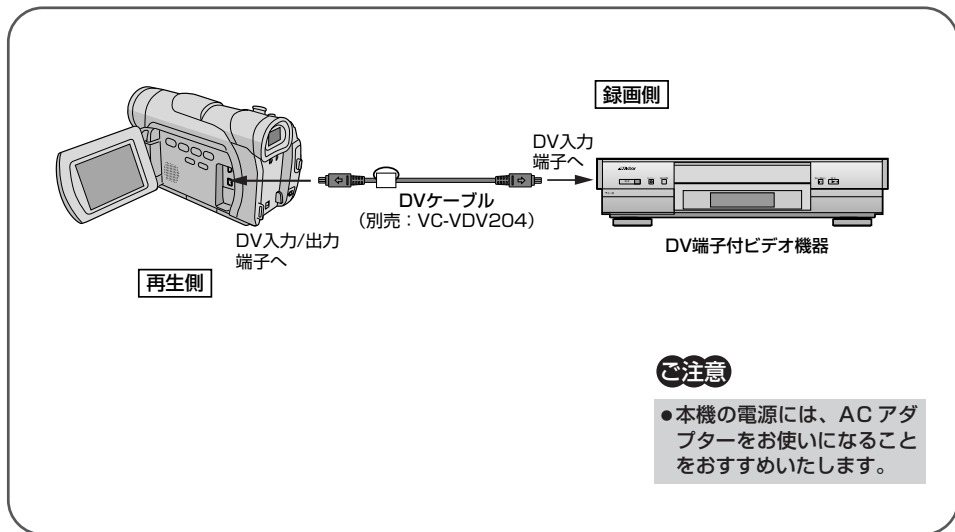
デジタルダビングする

本機を再生側として使う

●DV 入力端子付きのビデオ機器へダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

ご注意

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で

本機と DV 端子付ビデオ機器を DV ケーブルで接続する

● DVケーブル（別売）で、本機のDV入力/出力端子と DV 端子付ビデオ機器の DV 入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで

DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

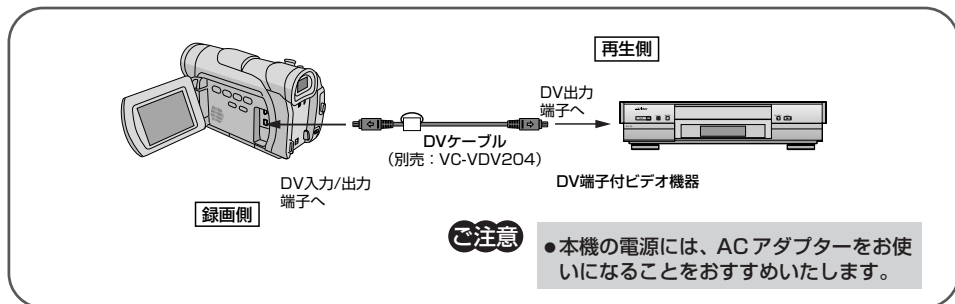
●再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると
異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。

●再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても
DV 出力端子からは、テープの通常再生映像のみ出力されます。

本機を録画側として使う

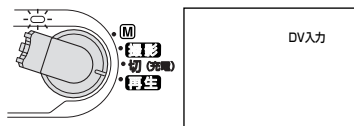
●DV 出力端子付きのビデオ機器からダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で
本機と DV 出力端子付きのビデオ機器を DV ケーブルで接続する

- DV ケーブル（別売）で本機の DV 入力/出力端子と DV 出力端子付きビデオ機器の DV 出力端子を接続してください。

2 **テープへ記録する録画モード（SP または LP）を選ぶ（☞ 48 ページ）**

3 **電源ダイヤルを「再生」に合わせる**

4 **ビデオ機器の電源を入れる**

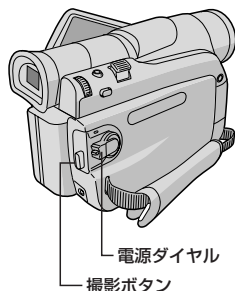
5 **撮影ボタンを押す**

- 録画一時停止状態になり、画面に「DV 入力」と表示されます。

6 DV 端子付きビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す

- 録画を開始し、表示が回転します。

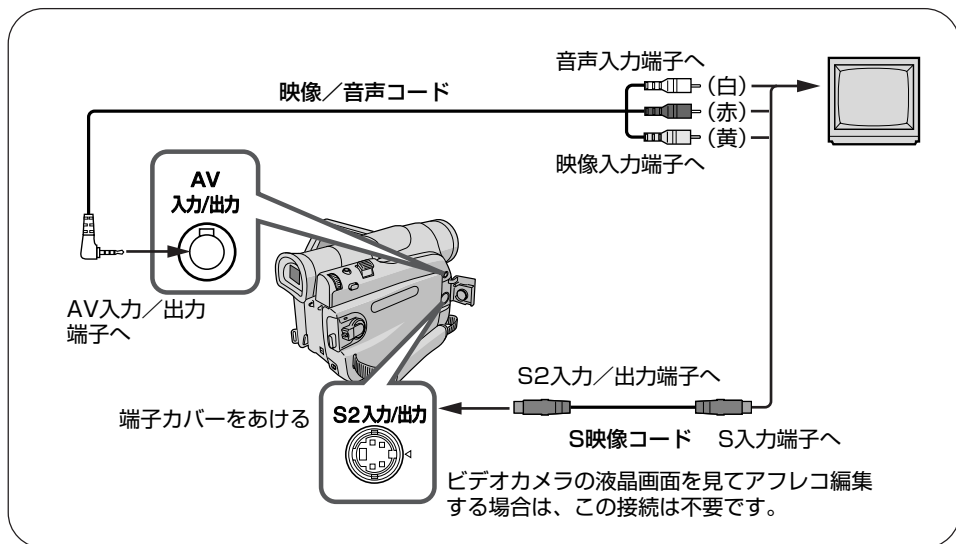
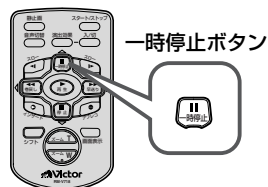
7 **録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す**

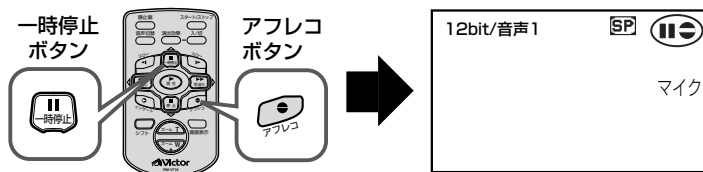
- 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。

●**再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

●**コピーガードがかかった映像を DV 入力しているときは**
S2 出力端子、AV 出力端子から信号が出力されません。

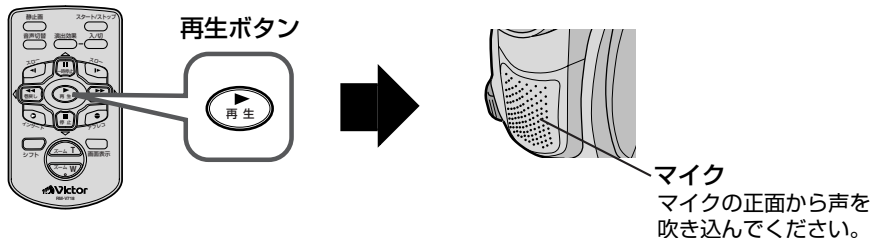
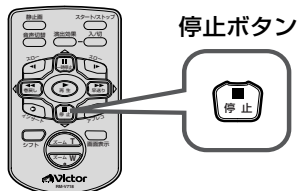
音声を加える（アフレコ編集）

●撮影したテープにナレーションを入れたいときなど

録画モードSPで、音声モードを12bitで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、付属のリモコン（☞44ページ）を使用して行います。

1 テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

2 リモコンのアフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。

●**アフレコ編集で吹き込んだ音声は**
撮影時の音声とは別に、アフレコ編集した声がステレオ音声で記録されます。

❸ 再生ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

● アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。

❹ 停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

●アフレコ編集した音声を聞きたいときは（☞66ページ）

●別の場面からアフレコ編集を再開したいときは

リモコンの「一時停止ボタン」を押します。ビデオが静止画になります。リモコンの停止ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。

●テレビから「ピー」、「ウワーン」というノイズ音が出るときは

テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

●外部機器を使ってアフレコ編集したいときは

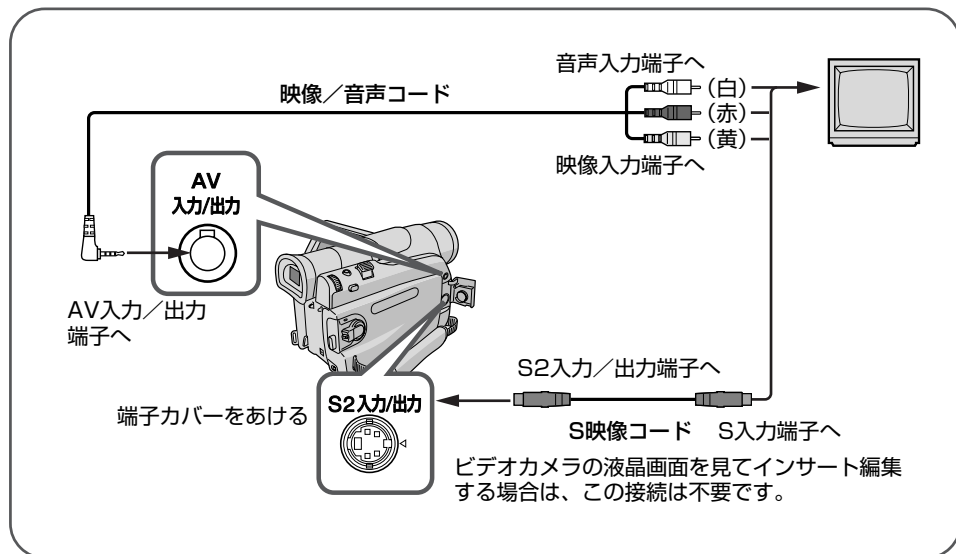
外部機器をAV入力／出力端子に接続して、ビデオ再生モードメニューの「アナログ入力」を「入」にしてください。（☞123ページ）
「マイク」表示が「AUX」に変わります。

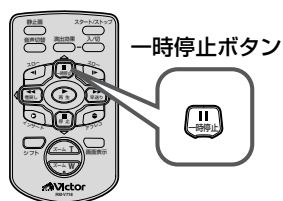
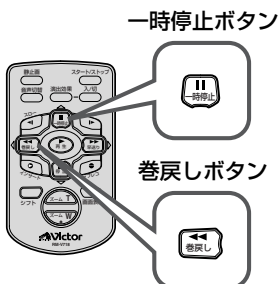
●画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは（☞43ページ）

LPモードで撮影したテープ、16bitで音声を記録したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではアフレコ編集できません。

映像を入れかえる（インサート編集）

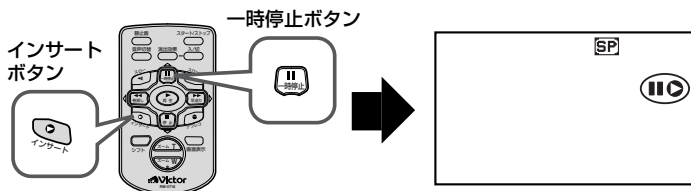
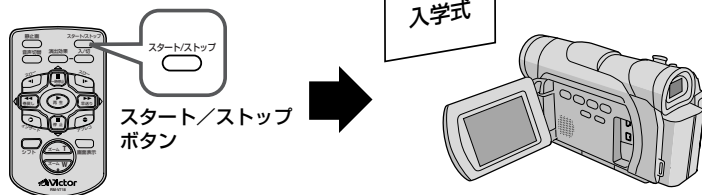
●撮影したテープにタイトルなどを入れたいとき

録画モードSPで撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞44ページ）を使用して行います。

❶ テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

● 終えるの場面のタイムコードを確認してください。タイムコード表示が出ていないときは（☞70、104ページ）

❷ インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタンを押す

●インサート編集すると、オリジナルの映像は上書きされてなくなります。

●インサート編集中、映像に変化をつけたいときは（☞82ページ）

❸ リモコンのインサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にインサート編集アイコンが表示されます。

❹ インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す

❺ リモコンのスタート/ストップボタンを押して、手順 ❶ で確認したタイムコードの位置でインサートを終了する

❻ リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

●画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞43 ページ）

LPモードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

編集

知って得する ビデオ撮影のコツ

一生の思い出になるように演出しましょう

ポイント❶

式次第を事前に確認し、司会者と打ち合わせをして式の流れを把握しておきます。

ポイント❷

会場を下見して、広さや照明、明るさ、電源などをチェックしておきます。

ポイント❸

長時間の撮影になるので、ACアダプターや三脚などを用意しておきます。

結婚式編

1 会場

フェードインなどを利用して会場の入口や立て札を撮影しましょう。

2 入場シーン

入場の少し前から撮影をスタート。入場の瞬間をしっかり狙います。

3 来賓の様子

新郎・新婦だけではなく、来賓の喜びの表情なども撮影しておきます。

4 ケーキカット

ウエディングケーキに入刀の際は、手元のアップも忘れずに。

5 余興

余興はズームアウトした全体イメージと、表情のアップを撮ります。

6 キャンドルサービス

ローソクのアップ、２人の表情、手元のアップ、来賓の顔などを撮ります。

7 花束贈呈

花束のアップ、受け取っている様子、父親の涙などをズームインして。

8 送賓（お見送り）

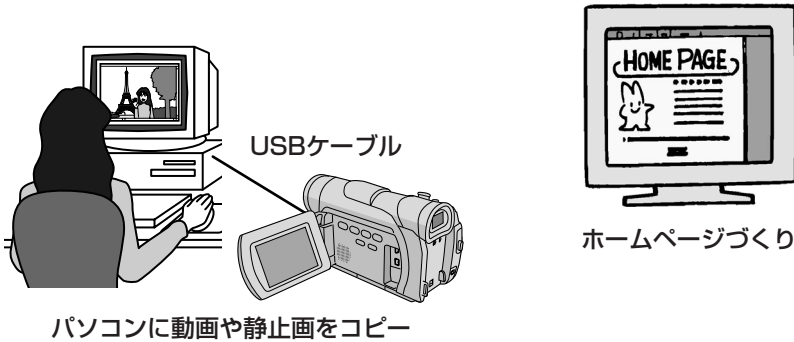
お送りしている２人の表情からフェードアウトしてエンド。

パソコン

パソコンに画像を取り込んで楽しもう！

ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、テープに撮影した映像やリアルタイムの映像をパソコンに取り込むことができます。取り込んだ映像は、メールに添付したり、ホームページに活用して楽しめます。

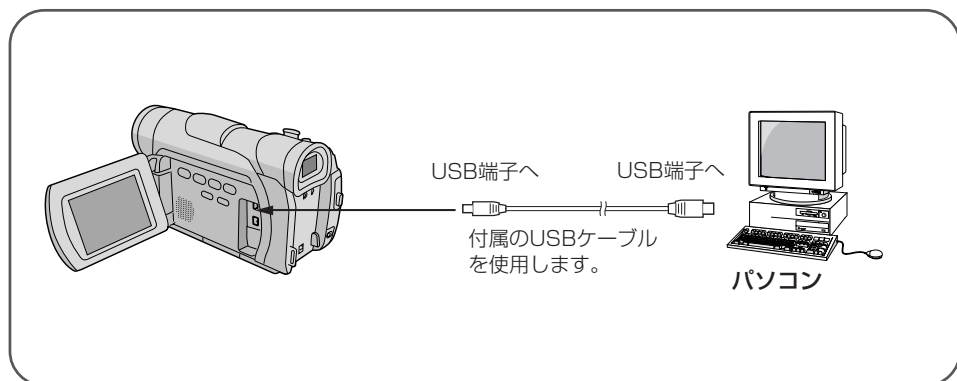
パソコンに動画や静止画をコピー

ホームページづくり

パソコンにつなぐ

USBケーブルで接続する

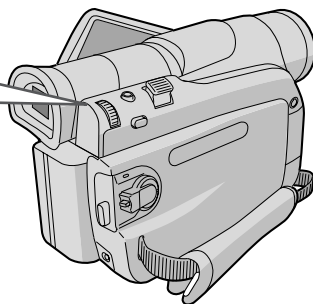
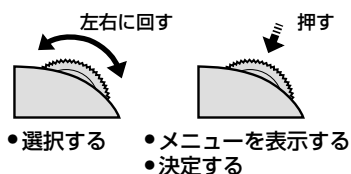
付属のCD-ROMからお使いのパソコンにソフトウェアをインストールすると、USBケーブルを使用して、テープに記録した映像やビデオカメラで映しているリアルタイムの映像を動画として取り込むことができます。

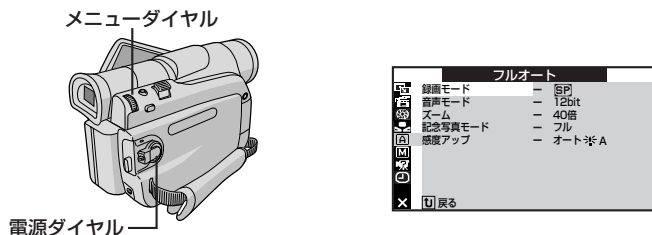
・パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
・ソフトウェア（CD-ROM）やUSBケーブルの取り扱い、および接続時の本機の操作については、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

ご注意

● 本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをお勧めします。
● USBケーブルをUSBハブに接続して正常に動作しないときは、パソコン本体のUSB端子と接続してください。
● USBケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。

メニュー
設　定

メニューの設定を変更しよう

メニューにはいろいろな設定があります。ビデオカメラの操作に慣れてきたら、設定内容を変更してビデオカメラを使いこなしましょう。

フルオートメニューについて

電源ダイヤルでⓂを選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。
設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集とインサート編集を可能にする	☞90 ☞92
	LP	撮影時間をSPモードの1.5倍にする	☞48
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12bit	アフレコ編集を可能にする	☞90
	16bit	高音質で録音する	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	16倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	☞55
	40倍	デジタルズーム	
	200倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	フル	全面に静止画を表示する	☞56
	ピンナップ	白フチと影をつける	
	フレーム	白フチをつける	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさにする	－
	AGC	電気的に感度を上げる	
	オート　A	シャッタースピードの調整で感度を上げる	

• お買い上げ時の設定値は、　　で表示してあります。

補足説明

録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
- ビデオ再生モード設定メニューにある「録画モード」でも「SP」、「LP」の設定を切り替えることができます。

音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12bit」に設定して撮影してください。一方、「16bit」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

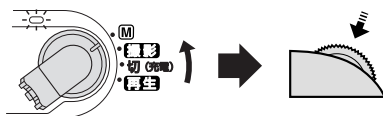
- 16倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、16倍以上は映像をデジタル処理してズームするため、映像品質が少し劣化します。

感度アップ

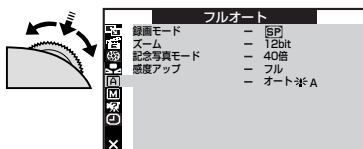
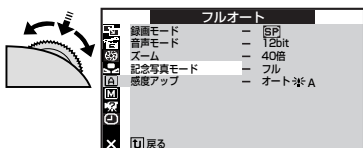
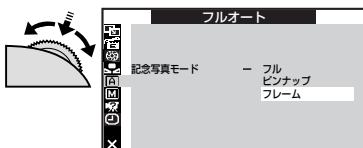
- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- 「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

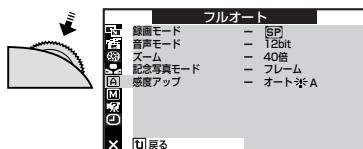
フルオートメニューの設定方法

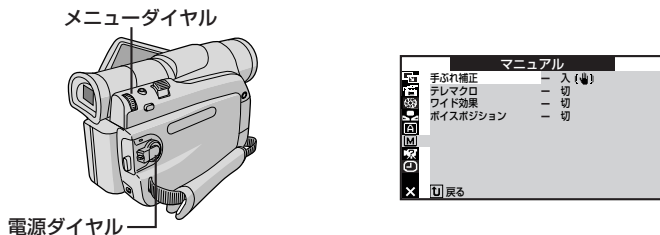
例）「記念写真モード」を「フレーム」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「A」を選び、ダイヤルを押す

● フルオートメニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルで「記念写真モード」を選び、 ダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「フレーム」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを２回押す

● 撮影画面に戻ります。

マニュアルメニューについて

電源ダイヤルで「Ⓜ」を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。
設定内容は、電源ダイヤルが「Ⓜ」のときのみ働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
手ぶれ補正 手ぶれ補正をやめる	切	―	―
	入	手ぶれで映像が振れない	
テレマクロ 接写を設定する	切	T側（望遠側）で1mまで接近可能	☞56
	入	T側（望遠側）で60cmまで接近可能	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	切	―	―
	シネマ	映画風に上下に黒い帯が入る	
	ワイド	ワイドテレビと同じ横長の画面になる	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	切	自然な音声を録音する	―
	入	風による雑音を軽減して録音する	

• お買い上げ時の設定値は、　　で表示してあります。
• 電源ダイヤルが「撮影」のときは　　の設定で動作します。

補足説明

手ぶれ補正

・デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。

・「フルオート」モードの手ぶれ補正は
「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。

・三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは
「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。

・手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは
補正できないことがあります。

・映像をデジタル処理する機能と同時に使えないものがあります。

・手ぶれ補正が働かないときは
「(✋)」表示が点滅、または表示が消えます。

ワイド効果

・普通のテレビ（画面比率4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは
ワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。

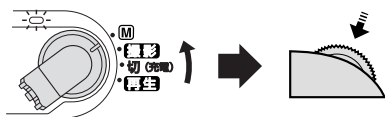
・ワイドテレビで再生するときは
ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。本機のS2入力／出力端子をS映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビのS2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。S1端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、S端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。

・ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは
ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。

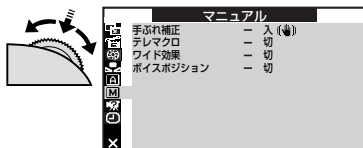
・ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは
早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。

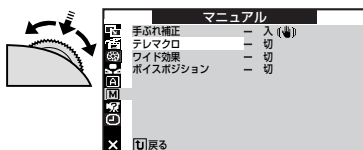
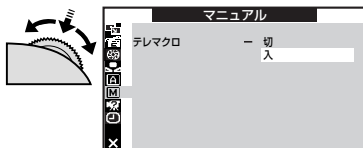
マニュアルメニューの設定方法

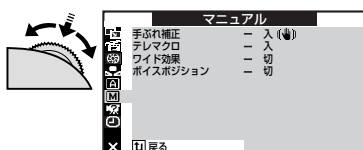
例）「テレマクロ」を「入」に変更する

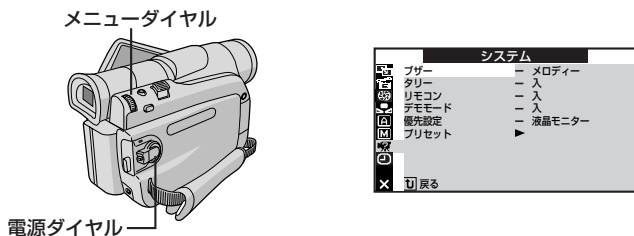
❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「Ⓜ」を選び、ダイヤルを押す

● マニュアルメニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルで「テレマクロ」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを２回押す

● 撮影画面に戻ります。

システムメニューについて

電源ダイヤルで Ⓜ を選択しているときにメニューダイヤルを押して、撮影設定を変更する方法を説明します。設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
ブザー 操作音を消す	切	操作音を消す	—
	ブザー	一部の操作のみ音を出す	
	メロディー	操作するごとにメロディー音を出す	
タリー 撮影中ランプを消す	切	ランプを消す	—
	入	撮影中にランプが点灯する	
リモコン リモコンの信号を受け付けないようにする	切	リモコン操作を無効にする	☞44
	入	リモコンで操作する	
デモモード 演出効果などを デモンストレーションで確認する	切	デモンストレーション表示をやめる	☞15
	入	カセットが入っていないときにデモンストレーションを表示する	
優先設定 ファインダーを優先に設定する	液晶モニター	液晶画面を優先的に表示	☞54
	ファインダー	ファインダーを優先的に表示	
プリセット メニューの設定をすべて最初に戻す	実行	メニューの設定をすべて最初に戻す	—
	戻る	—	

• お買い上げ時の設定値は、▒▒▒ で表示してあります。

補足説明

タリー

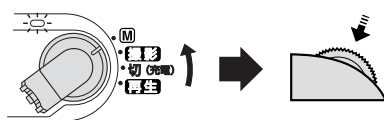
・「入」のとき、撮影中は撮影中ランプが点灯します。
・「切」のとき、撮影中でも撮影中ランプは点灯しません。

デモモード

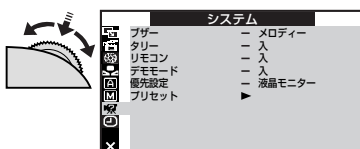
・ カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、画面にビデオカメラの機能デモを表示します。（☞15 ページ）
・ デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約３分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

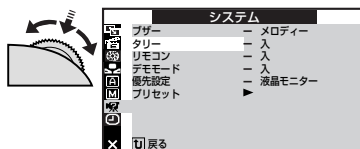
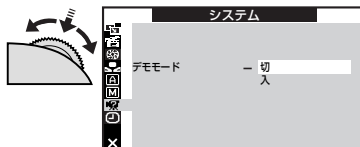
システムメニューの設定方法

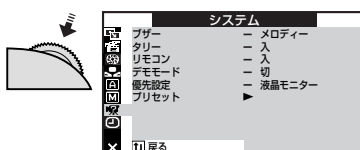
例）「タリー」を「切」に変更する

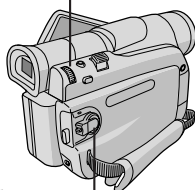
❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「 」を選び、ダイヤルを押す

● システムメニューが表示されます。

❸ メニューダイヤルで「タリー」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを２回押す

● 撮影画面に戻ります。

日時／表示メニューについて

電源ダイヤルでⓂまたは 再生 を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。

項　目	設定内容	機　能	参照
画面明るさ	画面の明るさ	液晶画面またはファインダーの明るさを調節する	☞54
画面表示切替	切	画面、TV、ビデオデッキに表示を出力しない	–
	モニター	ＴＶやビデオデッキに、画面の表示を出力しない	
	モニター/TV	ＴＶやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する	
日時表示	切	表示しない	☞68
	オート	電源を入れたときや再生を始めたときなどに5秒間のみ表示する	
	入	常に表示する	
タイムコード	切	表示しない	☞70
	入	表示する	
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する（「Ⓜ」に設定したときのみ設定可	☞104

- お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。
  ただし、「画面表示切替」と「日時表示」は撮影日時/表示メニューと再生日時/表示メニューで設定値が異なります。
  撮影日時/表示メニュー：「画面表示切替→モニター/TV」、「日時表示→オート」
  再生日時/表示メニュー：「画面表示切替→モニター」、「日時表示→切」
- 「画面表示切替」、「日時表示」、「タイムコード」は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせたときと「再生」に合わせたときの内容が、別々に設定されます。（撮影日時/表示メニューと再生日時/表示メニューで別々に設定されます。）

補足説明

画面表示切替

- ダビングや編集を行うときに画面の文字などの余分な表示を消すために設定します。
- 日時表示とタイムコード表示については効果がありませんので、これらを消したいときは、「日時表示」、「タイムコード」の設定を変更してください。
- 撮影日時 / 表示メニューでは「切」の設定がありません。

日時表示

- 日時表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞68 ページ）
- 日時表示を表示すると記録した日時がわかるので便利です。

タイムコード

- タイムコード表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞70 ページ）

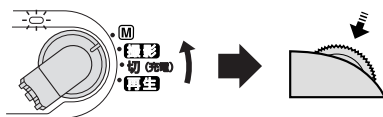
年月日時計合わせ

- ご購入時は、日時が設定されています。海外旅行、時刻がずれたときなどに設定しなおします。（☞105 ページ）

●「日時表示」の設定(入/切)はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。

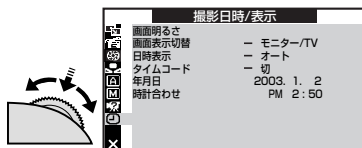
日時／表示メニューの設定方法

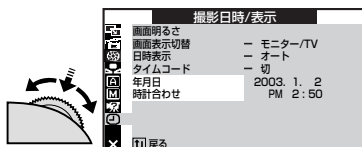
例）年月日と時計を合わせる

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

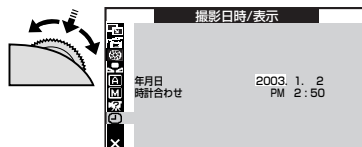
❷ メニューダイヤルで「⏲」を選び、ダイヤルを押す

● 撮影日時 / 表示メニューが表示されます。

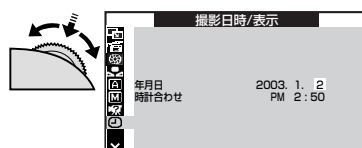
● 電源ダイヤルが「再生」のときは、「年月日時計合わせ」が表示されません。

❸ メニューダイヤルで「年月日時計合わせ」を選び、ダイヤルを押す

● 年が変更できるようになります。

❹ メニューダイヤルを回して正しい年に合わせる

● 数値を大きくする→「＋」側

● 数値を小さくする→「－」側

❺ メニューダイヤルを押す

● 月が変更できます。

❻ 同様に❹〜❺を繰り返して月日と時刻を合わせてメニューダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルで「戻る」を選び、ダイヤルを２回押す

● 通常画面に戻ります。

他

安全上のご注意など

⚠危険 ⚠警告 ⚠注意

安全上のご注意

⚠警告

■ 持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。

■ 不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■ 指定の電源電圧以外で使用しない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・火災や感電の原因となります。

■ AC アダプターのコードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■ 内部に物を入れない

・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■ 内部の部品に触らない

・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■ 機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■ 分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ 自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■ ぬらさない

・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

安全上のご注意

⚠警告

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■ 電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■ 電源プラグにほこりや金属物を付着させない

・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■ 上に乗らない

・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

■ AC アダプターのコードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・AC アダプター本体を持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所には置かない

・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
火災や感電の原因となることがあります。

■ 上に重い物を置かない

・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ カセットテープの出し入れ口に手を入れない

・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■ 本体に衝撃を与えない

・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

⚠注意

■ 指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ 照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■ 本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■ コード類は正しく配置する

・AC アダプターのコードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■ 長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■ 別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■ 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

・カセットテープも取り出しておいてください。

■ バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■ お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■ 5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■ 強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・AC アダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

他

安全上のご注意

ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠危険

■ ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

■ ACアダプターは指定以外のビデオカメラには使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、取扱説明書もよくお読みください。

■ ACアダプターを分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

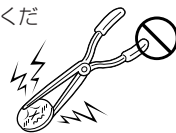
■ 高温の場所（60℃以上）に置かない

・発熱、破裂、発火の原因となります。

■ バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取りつけて、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■ ボタン電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■ ボタン電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。

ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠警告

■ 指定以外のボタン電池は使わない､また液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使わない

- 液漏れを起こした電池はショートによる発熱で､さわるとやけどをする原因となります。
- 電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
- 電池の液が漏れたときは､電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
  万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■ ボタン電池は幼児の手の届かない所に置く

- 万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■ 濡れたバッテリーは使わない

- 故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■ ボタン電池を入れるときは、極性表示（⊕ と ⊖）の向きに注意する

- 機器の指示通りにボタン電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■ 通電中の AC アダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

- 温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ **本機は DV 方式のデジタルビデオカメラです。**

従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません

■ **電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。**

・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。**

・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。**

・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ **液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**

・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**

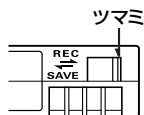
・ファインダーや液晶画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。（故障ではありません。）
これらはテープに記録されません。

カセットテープについて

■ 本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。

MiniDV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。

■ 大切な録画を消してしまわないように注意してください。

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

■ 事前に試し撮りをしてください。

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ 内容の補償についてはご容赦ください。

・万一、ビデオカメラ、カセット等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 権利者に無断で使用できません。

・あなたがビデオカメラで録画､録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 撮影を制限している場所があります。

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ モザイク状のノイズが出る場合があります。

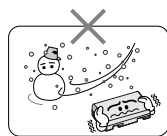
・LPモードで録画されたテープは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。
・LPモードでは、SPモードに比べ、音切れやノイズが出やすくなります。大切な撮影にはSPモードをご利用ください。

■ カセットテープは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

他

バッテリー（充電式電池）をご活用いただくために

■ リチウムイオンバッテリーの特性をご理解ください

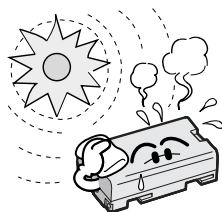
・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。

■ リチウムイオンバッテリーの保管にご注意ください

・充電された状態で長期間保管すると特性が劣化することがあります。
・しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。

<残りの容量を使い切るには>

① カセットテープを入れずに電源を入れる

② ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す

・長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保管してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、バッテリー残量が少なくなります。
・涼しい所で保管してください。周囲の温度が 15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・ご使用にならないときはバッテリーキャップを取り付けて保管してください。

お願い **リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて**

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご不要になった電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

安全のため、充電式電池にはバッテリーキャップを取り付けるか、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

■充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
小型二次電池再資源化推進センターホームページ　http://www.jbrc.com/
ホームページがご覧になれない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

時計用電池について

・日時を記憶するために電池が内蔵されています。電池の容量がなくなると、バッテリーやACアダプターの電源をはずしたとき日時情報が失われます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞118ページ）日時の合わせ方については、☞105ページをご覧ください（日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影をすることはできます）。

日常のお手入れ

本体の汚れを取る

バッテリーやACアダプターをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

・ 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
・ ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

- ベンジンやシンナーは使用しないでください
  ボディの損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。

レンズや液晶画面のゴミ・汚れを取る

■ レンズの汚れを取るには

市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ 液晶画面の汚れを取るには

市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

●再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。

●ビデオカメラが海外で故障したときは

・☞118ページ「ビクターサービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。

・その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みになってから大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（☞118ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

26～32ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルビデオカメラ
型　名	GR-D50K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	（　）　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

他

ビクターサービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1002

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近　畿		
滋　賀	滋　賀S.S.	(077) 582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京　都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京　都S.C.	(075) 644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈　良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈　良S.C.	(0744) 24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大　阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06) 6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺　S.C.	(072) 254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073) 472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739) 22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵　庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神　戸S.C.	(078) 252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫　路S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中　国		
岡　山	岡　山S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広　島	広　島S.C.	(082) 243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(084) 931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山　口	山　口S.C.	(083) 973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834) 27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832) 51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四　国		
香　川	高　松S.C.	(087) 866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳　島	徳　島S.C.	(088) 622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高　知	高　知S.S.	(088) 882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛　媛	松　山S.C.	(089) 923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895) 20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
		九　州・沖　縄		
福　岡 佐　賀	福　岡S.C.	(092) 431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942) 39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093) 921-3981	802-0065	北九州市小倉北区片野2-15-12
長　崎	長　崎S.C.	(095) 862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956) 33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大　分	大　分S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊　本	熊　本S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮　崎	宮　崎S.S.	(0985) 24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982) 35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099) 282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖　縄	沖　縄S.C.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山　陰		
島　根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852) 31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853) 21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855) 22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥　取	鳥取営業所サービス係	(0857) 23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー　〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC (U.K.) LIMITED
・ロンドン　〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ　〔08-25-800-811〕
BP50, 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール　〔6255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

主な仕様

[ビデオカメラ]

一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	DC11.0 V（ACアダプター使用時）、DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	3.4 W（ファインダー使用時）、4.7 W（液晶画面使用時）
外形寸法	69 mm × 94 mm × 143 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　　約525 g 撮影時質量＊　約665 g ＊バッテリーBN-V416、カセットM-DV30ME含む
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部仕様

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/6型 68万画素CCD （撮像エリア　34万画素）
レンズ	F1.6、ƒ=2.7 mm ～ 43.2 mm （35 mmカメラ換算：51.8 mm ～ 828.8 mm）
フィルター径	37 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
ズーム倍率	光学16倍、最大200倍（デジタル使用）
最低照度	11 ルクス（ナイトアイ使用時：2 ルクス）

デジタルビデオカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12bit）、 48 kHz 2チャンネル（16bit）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

液晶画面／ファインダー部仕様

項　　目	仕　　様
液晶画面	2.5型、11.2万画素　カラー液晶
ファインダー	0.24型、11.3万画素　カラー液晶

端子部仕様

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S2入力／出力端子 （S映像入力／出力端子）	アナログ入力（Y:0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω C:0.2 V (p-p)－0.4 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω）
AV入力／出力端子 （映像／音声入力／出力端子）	φ3.5 mmミニジャック 映像：アナログ入力（0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（1.0 V (p-p)、75 Ω） 音声：ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
USB端子	5 ピン（ミニUSB）

[AC アダプター（AP-V11 または AP-V13)]

項　　目	仕　　様
定格入力	AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
入力容量	AP-V11 : 26 VA（100 V)、36 VA（240 V） AP-V13 : 23 VA（100 V)、31 VA（240 V）
定格出力	DC 11 V 、1 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）

[バッテリー（BN-V416)]

項　　目	仕　　様
外形寸法	38 mm × 40 mm × 55 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約120 g

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	
	場面切替	
	フェーダー：白	ワイプ：スライド
	フェーダー：黒	ワイプ：ドア
	フェーダー：白黒	ワイプ：スクロール
	ワイプ：コーナー	ワイプ：シャッター
	ワイプ：ウィンドウ	切
	プログラムAE	
	1/60 シャッター1/60	B/W 白黒
	1/100 シャッター1/100	映画効果
	スポーツ	ストロボ
	スノー	切
	スポットライト	
	夜景	
	セピア	
	明るさ補正	
	オート	
	マニュアル	−6 ～ +6
	白バランス	
	オート	くもり
	ワンタッチ	ハロゲン
	はれ	

アイコン	メニュー	サブメニュー		
A	**フルオート**			
	録画モード	SP	LP	
	音声モード	12bit	16bit	
	ズーム	16倍	40倍	200倍
	記念写真モード	フル	ピンナップ	フレーム
	感度アップ	切	AGC	オート
M	**マニュアル**			
	手ぶれ補正	切	入	
	テレマクロ	切	入	
	ワイド効果	切	シネマ	ワイド
	ボイスポジション	切	入	
	システム			
	ブザー	切	ブザー	メロディー
	タリー	切	入	
	リモコン	切	入	
	デモモード	切	入	
	優先設定	液晶モニター	ファインダー	
	プリセット	実行	戻る	

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー
	撮影日時／表示	
	画面明るさ	画面の明るさ調節をする
	画面表示切替	モニター　**モニター/TV**
	日時表示	切　**オート**　入
	タイムコード	**切**　入
	年月日時計合わせ	現在の年月日、時刻を設定する

再生時

電源ダイヤルを「再生」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー
	ビデオ再生モード	
	音声切替	**ステレオ**　音声L　音声R
	12bit音声	ミックス　**音声1**　音声2
	録画モード	**SP**　LP
	アナログ入力	**切**　入
	システム	
	ブザー	切　ブザー　**メロディー**
	タリー	切　**入**
	リモコン	切　**入**
	デモモード	切　**入**
	優先設定	**液晶モニター**　ファインダー
	プリセット	実行　**戻る**
	再生日時／表示	
	画面明るさ	画面の明るさ調節をする
	画面表示切替	切　**モニター**　モニター/TV
	日時表示	**切**　オート　入
	タイムコード	**切**　入

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

アルファベット

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
118～119ページをご覧ください。	電話：(045)450-2770

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京	大阪
東京 電話：(03) 5684-9311 Fax：(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル	大阪 電話：(06) 6765-4161 Fax：(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M3D1 NON-DSC　0103-HO-BS-VP